(一)　第二百二十四號　THE PATRIOTIC LADIES HOME FORTNIGHTLY.　NO.224

愛國婦人

創刊明治卅五年二月廿七日●明治卅五年三月廿七日第三種郵便物認可●毎月二回（一日十五日）發行●電話番町千七百四十五番●同五百廿番●郵送無料●振替貯金口座東京壹壹六二番

●定價一部三錢五厘●半年分金四十二錢●一年分金八十四錢●廣告料一行金六十錢●發行所東京麴町區牛ヶ淵公園內愛國婦人會發行所●發行兼印刷人山澤俊夫●編輯人竹內貞三

明治四十四年五月一日發行　MAy 1. 1911.

端午に就て

文學博士　井上頼國

○端午と重五　五月五日を端午とも重五とも云ふ。元來支那國から渡來したる儀式でありますが、支那の五雜俎と云ふ書を見ますれば、張九齡が大衍曆を玄宗皇帝に上つたる序に開元十六年八月端午とあり、又同じく宋璟の表に月維仲秋日在端午とあるに由つて見ますれば、往時端午と稱されたのは、獨り五月五日のみでは無く、仲秋即ち八月五日も亦端午と云ひ、凡て毎月始めの五日を端午と云つたのであらうと思はれます。又瑯琊詩話と云ふ書には、端午之號は重九に同じ後世五の字を以て午となすは誤なりとあります。重九は九月五日の意です。

重五と云ふのは重九の意と同じて、五月の五と五日の五と、五が二つ重り合ふより起りし詞であります。

德川時代には、此日から八月晦日迄、公然の場所に出づるには必らず紋付衫衣を着用する定があり、武士は皆黃色なり淺黃色なりの衫衣を着用し、身分に隨ひ嚴に儀式を行つたものであります。

○粽に就て　端午に粽を造るのは、汨羅に身を投した其の屈原と關係あるかの如くに說いたのもありますが、是れは一個の怪談に過ぎません。周處と云ふ人の風土記には、五月には一陰生ず、と云つて、五月のげしから陰と成る、即ち十一月冬至に一陽來復して四月迄陽であるが、五月から陰に入り十月迄に終る、其間の陰陽共に茅の葉に包裹める、と云ふ意義だと說いてあります。

○端午の起源　端午の起原は、餘程遠い古の事であらうと思はれますが、唐玄宗皇帝の時にも此事が見えて居りますし、又我國にては、古くは續日本後記にも見え万葉集にも之を詠じた歌があり、延喜帝の皇子の書かれた西宮記や、清少納言の枕草子にも見えて居ります。枕草子には菖蒲に艾を添へて檐頭に挿したことが見えます。

又婿を取りたる家には、夫れより三ヶ年の間菖蒲を挿さぬと云ふ俗說もありましたが、內大臣忠親公（中山家大御先祖）の山槐記、仁安二年五月四日の記錄には、（朝[illegible]と司[illegible]）憚るに及ばずとあります。

因に、古の風俗には嫁入りと云ふことが無く、結婚の折りには、婿が先づ嫁の家に入り、其後婿嫁共に婿の內に歸るので、所謂婿取りでありました。嫁入りの風俗は、武家時代に至つて始めて行はれる事になつたのであります。

端午には、此外尙種々の儀式、習慣などが、上下を通じ汎く國民一般に行はれたのでありますが、其の二三を左に擧げる事に致しませう。

○菖蒲鬘　之は菖蒲を鬘として冠の外に懸け長く垂れるのでありますが、後世では、菖蒲の代りに絲を懸けることになり、禁中にては絲所の設があり、此所より年々かつらの絲を獻上致したとあります。

万葉集、家持卿の歌に、『ほとゝぎすなくさつきにあやめくさはなたちはなにぬき云々』とあり、又『あやめくさよもぎかつらに云々』とあるより見れば、家持卿時代に於ては、唯菖蒲のみでは無く蓬も亦、冠に懸けたやうに思はれます。

此の菖蒲鬘は、餘程古い儀式であつて一度中絶したものを、天平十九年に至つて御再興になりしものゝ如くに考へられます。

○あやめ枕　菖蒲を夜枕の下に敷きて寢るのであつて、俊成卿の歌にも『立花にあやめの枕にほふ夜はむかしを忍ぶかぎりなりけり』と詠まれて居るので、七百年以前から行はれたる風俗のやうに思はれます。又菖蒲を布團の下に敷いたと云ふこともありますが、古來歌に詠まれたのはあやめ枕のみであります。あやめは瘟氣を拔ふと云ふ意味に考へられたのであります。

○くす玉　美しい花形の飾球を造り絲（五彩の絲と云ふ說もあり）を垂れ、藥種を收めたる袋を着け、矢張端午に於ける惡鬼病魔避けの意味で室內に裝飾たるものであります。禁中でも御帳、菖蒲及艾にて飾り幼年親王方に參らせられた事が見えて居ります。

○あやめ冑　此の冑の事は續日本後記にも見えて居りますが、延喜式に於ても近衛府から紙の冑を作り、菖蒲艾を挿して上つた事が見えます。增鏡にも、寶治年間の條に、『五月五日所々より御かぶとの花、藥玉など色々に多く參らす云々』とあり。辨內侍日記にも『女房達にもしやうぶ冑をさせ、あやめのかつらを懸けさせ云々』とあります。又禁中の嘉永年中行事には、『親王へは檜の冑、冑花參る、のぼりは御初節供に給はり云云』とあるに由つて見ますれば、この冑は始め紙で造られたものでありますが、後世では木で造る事と成たのであります。

この紙の冑、或は紙の人形などを造つた事は、詳細南畝叢書に出で居りますが、之が今日人形甲冑武具等を飾る事になつた根源であらうと思はれます。

又延喜式に依りますると、此日に天皇武德殿に臨幸あり、騎射を上覽になると云ふことがありまして、騎射官は六衞府の內二人の左右兵衞が、金塗の甲冑を着け、金塗りの刀を帶び、金塗りの弓を持ち悉く皆華麗な金づくめの裝束をして之れに當つたのであります。

かく兵衞が華麗に裝飾たる風習が、兵衞は即ち武家の起源でありますから、遂に民間武家にも及ぼし、遂に今日の如く美々しい甲冑を着つた人形、美々しい武具などを飾ることになつたのであります。

○あやめの輿　菖蒲にて葺きたる輿で、矢張延喜式に、衞府からあやめの輿を作り禁中に上る事が見えて居りまするし、嘉永年中行事にも清涼殿の傍にあやめの輿を立てると云ふ事があります。

○あやめ酒　九節の菖蒲と云つて、莖一寸の間に九つの節ある菖蒲を細に切り、酒に浸して其酒を飲めば、疫病或は毒蟲などの禍を避けるとあり、之を菖蒲酒と稱しました。菖蒲は普通のでも宜しいが、九節の菖蒲が効顯著しとあります。拾芥抄と云ふ書には、先づ始に粽を澤山に喰ふのは惡いと戒め、次に粽を喰した後で菖蒲の莖一寸の長さのもの七本を取り、酒の中に浸して飲めよとあります。

○あやめ湯　之も古い習慣であつて五月五日に菖蒲湯を作り、之に浴すると云ふことが世諺問答に見えて居るので、足利時代には已に此世風があつたと思はれます、又此日蘭湯に浴すると云ふことがあります、蘭は今日の蘭では無く、秋の七草の一種の藤袴のことであります。支那でも此風俗は、周の世頃より行はれて居るのであります。

本號主要目次

▼端午に就て……文學博士　井上頼國
▼商家の婦人（上）……農商務省商務局長　大久保利武
▼婦人の獨立問題……文學博士　井上哲次郎
▼婦人の虛榮心と解放問題と……文學博士　元良勇次郎
▼人身御供の話（上）……文學博士　加藤玄智
▼東京に於ける史蹟と老樹（四）……女子大學教師　戶川殘花
▼婦人と神經病（中）……醫學博士　土田卯三郎
▼曲亭馬琴……京都大學講師　巖谷小波?
▼評論松の下風（廿四）
▼金井の御影……
▼小說風馬牛（一〇）……
▼セル、モスリン洗方……
▼藤原宮學子傳（七）……
▼其他和歌、雜錄等
●本號（附錄共）十八ページ

商家の婦人（上）

農商務省商務局長　大久保利武

▲商業家の責任

國力の發展と云ふことは、強ち兵力の強大のみを意味するのでは無く、結局産業の發達、即ち商工業の發達に外ならぬのであります。

近年農工業上の改良進歩は、稍見るべきものがあり、餘程精良な品物を産出して、一方では國内の需要に應じ、尚一方では海外輸出貿易を増進して居りますが我國に於て、現今大に改良發達の餘地の存するものは商業であります、如何に農業や工業が進歩して、精巧な品物を澤山に産出しても之れと相待つて商業が發展し、運輸交通の途を開いて、内外に之が販賣の擴張を爲し、需要供給の調和を企てねば、産業の發達進歩は到底望まれぬ事となりますので、商業家の責任は國力發展上に最も關係深きものであります。

▲商業家と人格

此の商業の發達と云ふことは、其の組織とか、其の方法とかに就ても、時世に伴ふて大に改良するところがなくてはなりませんが、必竟は其の人に存する事が多く、即ち商業家の人格に存することが多いのです。然るに人格は家庭が之を造るものであつて、之れには婦人の力が餘程關係を有するのであります。世間には最善の組織を立て、又最善の方法を設け資本も十分に用意して商業を始める者は尠くありませんが、其中には、往々失敗する人が事實上多い、其の失敗の原因を尋ねて見ますと、多くは商業家其人の人格の缺乏に基くのであります。であるから、今後競爭の激甚な、日進月歩の時代に於ては、家庭に於ける婦人の力が、男子の力と相待つて活躍しなければなりません。

▲商業道徳の觀念

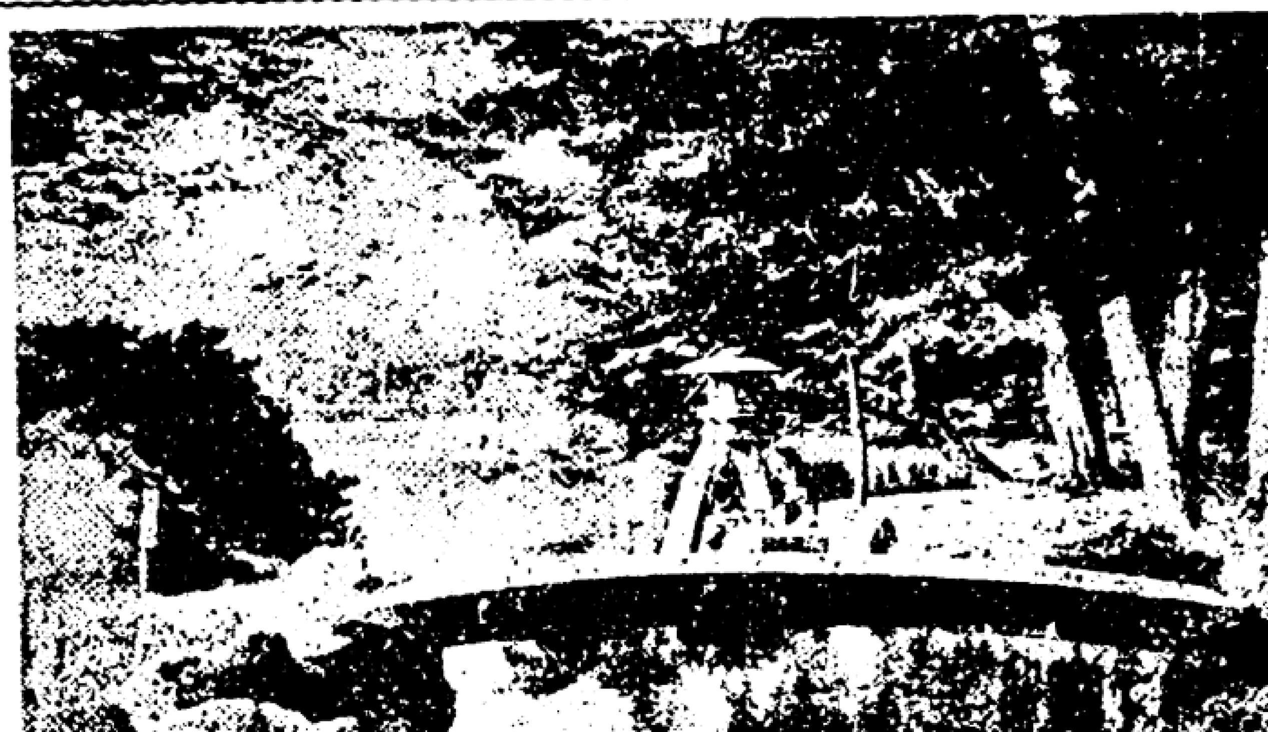
近來、我國の商人は商業道徳に缺けて居て商業上に於ては寧ろ支那人に劣ると云ふ非難がありますが、外人の此の悪評は甚だ歎ずべきことで、是非矯正しなくてはなりません。

我國に於ても、明治維新前には、商家には一種の堅い道徳があつて、暖簾を尊び、互に信用を重んじ、若し不都合なことがあれば仲間外れをすると云ふ風習が一般に行はれて居ました。今日の所謂商業道徳は已に十分に發達して居たのですかくて海外貿易の如きも盛んに行はれた時代もありました。然るに、維新の際、此等の道徳が一時に衰頽し、此の美風が地を拂つて去つて了つたので、今後、その時に相適した商業道徳の觀念が新に立つて行かねばならぬことになりました。而し乍ら、學問が開け、交通が發達したる今日でも、商業の方法組織と云ふことに就てこそ變化もあれ、其の精神とか道徳とかに就ては昔と少しも變ることは無く、唯そのまゝの商業道徳の精神を、尚一層強く深く涵養すれば足るのであります。

然るに、此の商業道徳は、如何しても家庭から起さねばなりません。昔の商家の婦人は、さ程教育も要しなかつたが、今日では皆相當の教育を受けて、家庭の半分の責任は婦人の身に引受けねばならぬ事となりました。

▲商業道徳は婦人の力に待たざるべからず

さて、第一に商家に最も大切なる事は正直の二字であります。正直は最善の方法なりと云ふ諺のある如くに獨り金のみが商賣の資本では無く、律義信用と云ふことが商賣の大資本で、物品の體面を瞞着して不法の代價を貪ると云ふやうな事は、結局失敗の因となり、商家に於て一度正直と云ふことに一點の疑を持たれるやうになつたならば、最早其の商家は滅亡に臨んで居るのであります。是等のことは、如何に其の家の主人のみが口八ケ間敷く云つても、婦人が内に居て一家の家風と云ふものを正直を基礎として造らねば何の役にも立ちません、又番頭とか手代とか丁稚とか小僧とか云ふものゝ性格の上に及ぼす勢力は婦人に多いので婦人から進んで此の覺悟を實地に示し導き此の家風を立てゝ行かねばなりません



金澤兼六公園内霞ケ池

第二には質素と云ふことであります。商賣の途は零碎の資金を積み、零碎の金を信用を以て運用し、利益を生むのでありますから、商賣の途に於ては、質素と云ふことが餘程大切な條件となります、又經濟上の秘訣と云ふのは、最小の費用で最大の取得あることにあるので、商家は常に質素を重んじ、成るだけ出費を少くして、それで最大の效果を得るやうに心懸けねばなりません。かの成功したる商業家が、往々驚くばかりに質素な生活を爲して居る理由は、玆にあるのであつて、是等も家庭に於て婦人の最も注意すべきことで、婦人自ら率先して冗費を省き質素の家風を造るやうに爲ねばなりません。健全なる商業家は必らず質素で奥ゆかしいものであり、之に反して華麗な贅澤な生活を爲て居る人に成功者は尠いので、贅澤な生活と質素な生活とは商業家の盛衰に密接な關係を有して居ります贅澤な擧動ある商業家には取引などの點に於てよほど用心せねばなりません。

（つゞく）

◉女子高等教育と人種的自殺

文學博士　建部遯吾

米國の女子教育は、頗る奇體なる成績を呈して居る。曾て我國の女子大學校の手本ともせられ兼ねぬ所のブリンモール女子大學校で統計を取つたところが、二十六人から成立する一つの級で、婚姻せる者が十人、而して十七年間に、子供が其總體の中から、僅に一人さへ生れなかつたと云ふ實例もあると云ふやうな次第で、是は勿論取除の例であらうが、何しろ米國に於ける所謂女子高等教育と、ローズヴエルト前大統領が疾聲大呼して、國民に猛烈たる反省を促しつゝある「人種的自殺」との間に一種の關係のあることは、略ぼ想定せらるゝ次第である。是に於て、流石に米國女子教育者も、此實勢に省みて、幾分賢母良妻主義を加味することの必要を感じて來た。それを又皮想なる觀察者が誤つて、賢母良妻主義の本家本元は米國であると云ふのは、如何にも片腹痛き次第である。

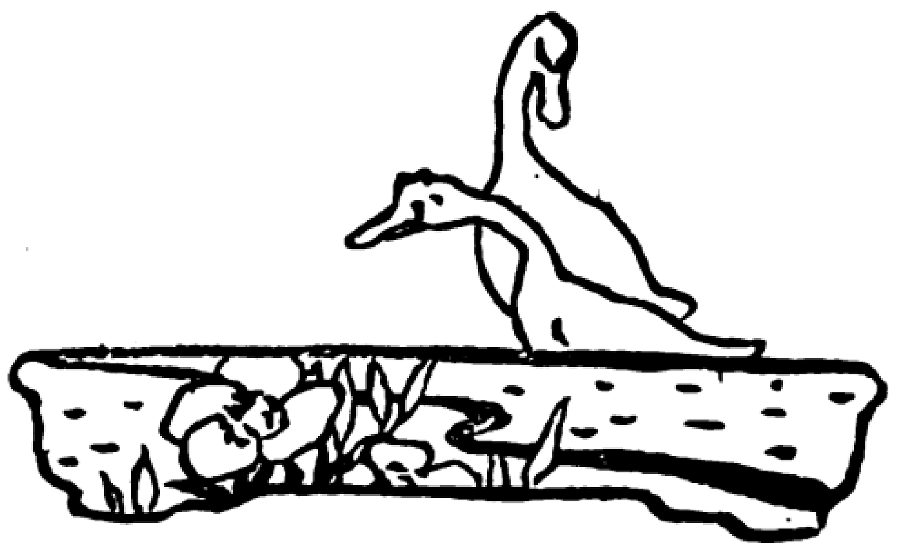
◉チヨンガーとネンカミ

チヨンガーとは朝鮮にて妻を持たない男子の稱である。即ち青年の男子は皆自から チヨンガーであるが、然し老年になつても妻を持たれば いつまでゞもチヨンガーである。チヨンガーは髮を組んで後へ垂れ冠を被らない。それが妻を持つと初めて髮を頭上に結び又冠を被り、一人前の男子となるわけである かく一人前となつたものをネンガミといふ。それ故に青年でも妻を持てばネンガミ老年でも妻がなければチヨンガーで留らればならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人の獨立問題

文學博士　井上哲次郎



婦人が家庭より出でゝ、男子と同じく社會上に職業を求め、男子と地位を爭ふ事は、到底不可能の事であるばかりでなく、其の天より受けたる使命に背く事となるのである。今茲に、男子と女子との生理上の差別を擧げて見れば、先づ第一に男性は一般に積極的で進取の氣象に富んで居るが、婦人は一般に消極的で、進んで事を成すよりも寧ろ退いて守るの性質を帶びて居る。第二に、男子は體力が强壯であるが、女子は薄弱で激烈なる職務に從事する事が出來ぬ。第三には、男子は理性に富み判斷力に富んで居るが女子は頗る感情的で涙脆く判斷力が弱い第四には、元來の體質が違ふ。微細に云へば筋肉の發達、骨格皮膚の組織、血液や脂肪の分量等から既に相異して居る殊に婦人には每月幾日かの間必らず病者の狀態に陷ると云ふやうな弱點もある。第五には、男子は戰鬪的であるが、婦人は非戰鬪的である。

是等の點から考へて行くと、婦人が宜し男子を離れて獨立したとしても、男子と職を爭ひ業を競ふて社會上に活步する事は到底不可能の事であると同時に、男女の身心の上に斯の如く差別のあるのは、即ちもと〳〵男女が別々の天與の使命を帶びて居るからであると云ふことが明白に判るのである。實に家庭と婦人とは相離るべからざるものであつて、良妻たり賢母たり、而して夫をして安全に、心地宜く社會上に出でゝ活躍せしむるは婦人の天職であつて、かの婦人の獨立こそ却つて天理に背き、自然に逆らう行動と云はねばならぬのである。

而し、男女間の身體の組織、精神上の狀態に前述のやうな差別があるので、夫れで男子は女子よりも勝り、女子は男子よりも劣つて居るかと云ふに、一口に左樣と定める理には可けぬのであつて、元來世の中に男女兩性があるといふのが、畢竟世の中が此の兩性を要求するからである。即ち世の中は男子だけでも可けぬし又勿論婦人ばかりでも可けぬ、男と女と互に相寄り相助け、彼の短を此れにて補ひ、此の長を彼の短に貸すと云ふやうに出來て居るので、かくて始めて世の中が圓滿に、立派に行くものであるから、殊更らに男女の間に優劣を定むる事は出來ず、又其必要も無いのである。

抑も世の中の誠の愉快と云ふのは、自己の缺點を滿足させたる場合及自己が發展し進步する場合に起るものであつて、彼我互に長所あり缺點ある者が相一致して、各々其缺點を相補ひ相助くる事は大なる愉快であるので、こゝに男女間の戀愛が生じて來るのである。嘗てダーウヰンは進化論を說くのに、始めには生存競爭を以て爲、次には戀愛を以て說いて居り、生存競爭は自己生存の爲めに起り、戀愛は種族の存續の爲めに起ると云つて居るが、社會の發展進步の動機は此二個條に過ぎぬので、食慾及び戀愛は實に人類進化の原素である。中でも戀愛は、社會の進步發達に最も有力なる素因をなすものであるが、さて然らば純正なる戀愛は何れにありやと云ふに夫れは唯家庭にあるのである。こゝに新しき一個の家庭が成立し、男女が互に長短相補ひ相助け一身同體たるの約束が成り立つと、そこに、直に陽々たる愛の新芽が生じて來る。斯くして社會の風紀道德は維持され、世は進步し發展するのである。要するに、婦人の獨身生活、殊に男子に反抗的の意味合ひから獨身を主張するが如きは間違の甚だしきものであつて、かくては婦人たるの使命に悖り、且つ家庭の成立を破壞し社會の衰頽の基となるは勿論、又かくまでに至らずとも一方に於ては人口繁殖の程度が減少する虞ともなる。尙又、婦人が此の如き思想を帶びて居ては、よし結婚しても家庭を圓滿に持續し、立派に整理して行く事は困難であらう。此の如きは我國現在の狀態から見ても、大に不可なる處である。

婦人の虛榮心と解放問題と

文學博士　元良勇次郎

◉婦人の虛榮心は男子の罪

婦人が一般に虛榮心に富んで居ることは、爭はれぬ事實であるが、元來身體の粧飾は、深い敎育を受けて思想が大に進步せずとも容易く出來、隨つて誰も之れに就て考へ得るので、比較的に敎育の無い婦人は身體の粧飾を無上の快樂として、全心を傾け全力を夫れが爲めに用ふる事ともなるのである。

併し、婦人の虛榮心は、獨り婦人その者の罪ばかりでは無く、男子も亦大に之を養成するの罪がある。かの家庭外に娛樂を求むる主人の如きは、內に於て間接に婦人の虛榮心を煽動し養成して居るのである。かく娛樂を家庭外に求むるは、獨り其家に風波を惹起し、家庭の圓滿を亂すばかりで無く、社會風俗の破壞ともなり、世間に害毒を流す事ともなる、之は男子の戒め愼まざるべからざる事である。

歐米では、此虛榮心が大に盛んで、隨つて男子が結婚するのに、其の妻たるものゝ虛榮心を滿足させる爲めに濮大の資金を要し、夫れ故貧しき男子は何時までも結婚する事が出來ぬと云ふやうな現狀であるが、是れ單に婦人の罪では無く、前述の如く、輕からぬ男子の罪が大に之れに關係を有するのである。

◉誤解されたる婦人解放論

西洋風俗の輸入以來、種々の婦人問題が起つて、今日では往々婦人を解放せよと云ふやうな說も聞えて居るやうである自分が永年米國に滯在して見聞した處に由ると、成る程米國では男女間の交際も行はれ、且つ學校では男女混合敎育の方針を取つて居るが、男女を一室に收容して敎育する事は多年の風俗習慣に由り、又男女間の交際は一部の人士が想像し、又希望するやうに男と女が勝手自由に交際すると云ふのでは無くて、矢張り一個の有力なる不文律の支配の範圍內に由つて成され、其れ以外に出づる事は許されぬので、男と女が氣儘に手を引きあつて舞踏をして宜いと云ふのでもなければ、自由に往來する事が許されると云ふのでも無い。然るに現今の我國に於て直ちに婦人を解放し、男女をして自由に交際せしむるは誠に危險千萬の事であつて要するに婦人解放論の如きは能く歐米の風俗を知らぬ淺薄な愚論と云はねばならぬ。

たしか一昨年であつたと記憶する。我國女子敎育家の數氏が集合して若い女の守る可き訓戒十ヶ條を定められた事があるが、我國の男女間の交際に關して規定を設けて之を遵守らせ、之に由つて交際せしむるやうに爲ることは、今後益々必要であらうと思ふのである。

●獨逸の婦人

獨逸人だ彼の女は美人か否かと聞けば、大概はGeschmacksacheと答へる、言ふ意は人々の好不好といふことで、其處で獨逸の婦女を評するは人々の嗜好に任せてこゝに一寸獨逸婦人の狀態を話さう、獨逸の人口五千六百萬人中、女が二千八百六十餘萬で、男子の數よりも平均一千人につき三十二人多い、伯林の如きは九十二人多い、そこで女の餘りものが出る譯、更に其結婚割を調べて見ると、總人口の中男の六割一分が獨身者で、五割七分が女の獨身者、結婚者は男が三割六分で、女が三割四分、さて鰥が三分三厘で、後家が八分四厘、實に獨逸の婦人は氣の毒な境遇にある、そこで顏位は美人として置かう。（大阪朝日）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

文學博士　加藤玄智

人身御供の話（上）

▲人を殺して　神に供へる事を人身御供と云ひまして、是は宗教上古い昔から行はれた慣習でありますが、文化が啓けず宗教心が未だ發達せぬ野蠻な地方では、今日も尙此の殘忍な風俗が殘存つて居ります。

いくらか新しい時代の出來事と致しても、かの羅馬帝國がカルセージを攻撃した折りに、カルセージ人は國内の澤山の小兒を神に犠牲として、國の勝利を祈つた事があります。此外希臘にも亦アリヤ民族中にも矢張り此の風俗がありましたので、舊約全書にも明白に此の儀式の事が見えて居ります。畢竟、今日慈愛なる天にまします神樣も、其源を溯り尋ねて見ると、喜んで人身御供を受けて居られるのであります。

此の例は我國にもありまして、かの素盞嗚尊が簸の川上で大蛇を退治になつたのも、史學者の側から觀れば蛇は昔神として話の上から觀ますると、蛇も角、神の犠牲で尊敬された事蹟が多いので、其の犠牲であつたと想像されます。又日本武尊が東夷征伐の折に、妃が進んで海に入り海神の犠牲となつて、風波を靜め給ふたと云ふことも、亦我國に於ける人身御供の一痕跡であります。

然るに此の事は、誠に殘忍な儀式でありますから、人間の智識が進歩し、宗教心が發達するに從ひ、一歩〳〵と進化して居ります。

▲國王が犠牲となる　メキシコやバビロニヤ等にも盛んに此の儀式がありましたが、殊に此の地方では、單に男や女の小兒を犠牲にするのではなくて、國王自身に人身御供に立つ風習がありました。之は太古では國王と僧侶（或は祭主）とは概ね同じ人が兼ねて居り、王樣は即ち神の權化であると云ふ思想があつて、その王樣が天壽を以て疊の上に最期を遂げる時には、神も王と一緒に死んで了つて此の世から去つて了ふ、そこで國王の未だ丈夫な内に之を犠牲にすると、王の身體は死しても、其の身體に宿つて居る神樣だけは丈夫に殘り、そして又次代の王樣の身體に宿ると云ふ迷信から出たので、國王も亦寧ろ一身を神に犠牲として捧げるのを、此上もない名譽として居たのであります。そこで、メキシコやバビロニヤでは、一定の時期が來ると萬乘の尊を以て倘神の前に犠牲として殺されねばならなかつたのであります。

▲死刑囚國王となる　けれども、國民の智識が次第に進むに随ひ、國王が人身御供に立つと云ふのは不都合であると考へるのが自然の情でありまして、後には捕虜や死刑囚を國王の代りに犠牲とする傾向が起つて來ました。然るに、茲に一つ不都合が生じたのは捕虜や死刑囚ではあるが、國王の身代りとして神に捧げられるのでありますから國王と同じ資格が無くてはならぬと云ふので、總ての待遇を國王と同一にして、一年か又は半年位宮殿に住居せ、衣服食物は勿論、甚だしきは國王の妻妾までも之れを自由にさせたと云ふやうな事もありました。

▲人の代りに猿　又、臺灣の生番中には、初めは敵の部落を攻撃して其捕虜を犠牲に供しましたが、次第に捕虜も無くなつたので、後には人の代りに猿を用ふるやうになりました。とにかく人の代りになるべく人間に似た或者を犠牲に供したいと思ふのも、亦自然の結果でありませう。

▲天羊を下して人に代ふ　其の思想の變化の順序は、よく舊約全書の内に現はれて居ります。其證となるべき神話の一つを舉げて見ますれば、

昔々アブラハムと呼ばれる心も行も正義しい一人の翁がありました其の妻のサラは既に九十歳の老齢となつて居りますが、心細くも夫婦の間に子寶がありませんので、何卒して子供を得たいと望みまして、アブラハムは神の御前に平伏し、子供を下し給はらん事を希ひ、且つ今後益々心を正うし行を潔うして神の御心に背かざることを誓約しました。神樣はアブラハムの胸中を酌み願を容れて、其の玉の如き一人の男子をお下しになりました、神は兒をイサクと名付けアブラハム夫妻は蝶よ花よと慈愛み養育しましたが、稍イサクの成長せし頃、神はアブラハムの信向を試さうと、アブラハムに向つて、イサクを犠牲として神に捧げよと御命令になりました。アブラハム大に歎き悲みまして、神樣の命令に背く心は露程もありませんが、さて如何して愛の緒が絶れませう、心ばかりは神の御心に随つても、イサクを犠牲とする事は日一日と延び延びになります、神は嚴に速く犠牲を捧げよと御命令になります、アブラハムは遂に弱き心を引き立てまして、イサクに神の御命令を傳へますと、イサクは少しも惡びれず、迅く〳〵神の御心に随ひ自分を犠牲になされよと申します、アブラハムは心も暗に、イサクを引立てまして、神在ます山に至り、今や其御前にイサクの血を流さんと致す瞬間、神樣は羊を下して、其の血を以てイサクの血に代へ給ひました。

此の神話には、イスラエル人が、人の兒を人身御供として滿足をして居た時代から、其の殘忍に堪へざる時代に移り、遂に動物を以て人の兒に代へたと云ふ事が現はれて居りまして、宗教心の進化の狀態が明かに窺はれるのであります。

之れと類似の話が希臘にも印度にもあります。日本でも昔時は人身御供が行はれた事は、前にも述べた通りでありますが、或る隨筆書中に見えて居る、奥州の傳說『淺香沼の大蛇』の話を左に擧げる事に致しませう。（つゞく）

◉東京に於ける　史蹟と老樹

女子大學教師　戸川殘花

●小石川植物園と養生所●●●●●●●

小石川植物園は今は東京帝國大學理科大學に屬して居るが、德川時代には所謂御藥園で、將軍家の用藥を製造するところであつて、又貧民施藥の目的から養生所が其内に建てられてあつた。抑も藥園は四代將軍の頃から始まり、小石川音羽護國寺の傍り、或は麻布などにも設けられた事があつたが、享寶六年夏八月、將軍吉宗の頃に此の藥園が出來たのであつた。總坪數實に四萬八千八百坪とある。但し元祿舊記に此の近傍には往々鹿が出て荒したとあるに由つて見れば、當時は如何に寂漠たる大原野であつたかと云ふ事が判るのである。

此の藥園の元祖は、當時の小奉進役岡田利左衞門及醫者の小野寺源風であつて、是等の人が命を受けて此の藥園を創設した。又傳通院前に住居した町醫小川笙船なる者が、貧民の爲めに施藥院を此處に設立せん事を嘆願し、遂に願許されて養生所と云ふのが出來ることゝなつた。棟數五ツ、東西三十一間、南北三十二間總坪數約一千坪の大建築はなつて貧しき病人、或は憐むべき孤兒をこゝに收容し、衣食住を政府より供給して、今の所謂慈善病院なり且は養育院なりの事業を併せ行つたのである、蓋し悲田院、施藥院の如き貧民救濟の事業は我朝に於ては既に光明皇后によつて始められたと云ふ事が歷史上に見えて居り、我國人民の上となる可き人達が、貧民の爲めにかく心を致されたことは正に史上の誇であるが、今より約二百餘年の昔、既に小石川御藥園の如き完全にして廣大なる藥園及養生所があつたのは、歐米諸國にも例のないことで是亦史上に光彩を添ふるものであらうと信ずるのである。

●沙汰やみの櫻●●●●●

この櫻は、小石川傳通院前にある彼岸櫻で、太さ一丈四尺、高さ二丈七尺、世にも珍らしい老樹であるが、嘗つて德川十一代の將軍家齊公が、此寺に墓參の折りから、此の木を見て大に激賞し、江戸城内に移植しやうと企てられたが、餘りに樹の大きい爲めに、江戸城門の四ケ所までも破壞せねば、城内に入れることが出來ぬといふので、爲めに其の沙汰は取り止められて、今尙傳通院前に花四月濃艷の裝を凝して居る『沙汰止みの櫻』の故事來歷依而如件。

雲井の御影

▲四月一日（土）晴　閑院宮並同妃殿下日本赤十字社及愛國婦人總會台臨の爲め　北陸四國方面へ御西下◉故岩倉公　一周年祭當日に付き　兩陛下より饗前へ御下賜品あり。

▲同　三日（月）雨　神武天皇祭、大和畝傍御陵に於ては勅使佐伯掌典參向し恭しく祝詞を奏す。

▲同　四日（火）晴　東伏見宮殿下御渡英最終の御別宴◉竹田宮殿下千葉縣下御出張。

▲同　五日（水）晴　東宮殿下九州より御歸東沼津御別邸に入らせらる。

▲同　六日（木）晴　沼津御滯在中の皇后陛下には東宮殿下と御同伴同地植松邸へ行啓遊ばさる。

▲同　七日（金）晴　東宮殿下御歸京◉故有栖川若宮栽仁親王三年祭。

▲同　八日（土）晴　皇后陛下沼津蛇松に行啓風景御賞觀あり　◉北白川宮武子女王殿下保科子爵へ御歸嫁勅許。

▲同　九日（日）雨　伏見若宮博義王、山階宮武彦王、同芳麿王、華頂宮博忠王各殿下葉より御歸京。◉閑院若姫宮殿下小田原より御歸京。

▲同　十日（月）晴　遣英御名代宮殿下宮中御送別御宴◉梨本宮妃殿下名古屋より御歸京。

▲同十一日（火）晴　岡侍醫頭母堂逝去に付き喪中御尋として　兩陛下より御菓子一折を賜はる。

▲同十二日（水）晴　東伏見宮同妃殿下新橋御發車御渡英の途に着かせらる◉閑院宮同妃殿下御歸京。

▲同十三日（木）晴　伏見若宮殿下横須賀御歸任。

▲同十六日（日）晴　皇后陛下沼津より御歸京あらせらる。

嫁入道具
京都美川堺町
宮崎タンス
電一八二〇番

婦人と神經衰弱

(中)

醫學博士 土田卯三郎

獨身生活の結果がヒステリー

談話が少しく横道に入りますが、かの近來喧しき婦人の獨立問題の如き、歐洲あたりでは婦人も夫たるべき男子と殆んど同一程度以上の收入を有たねば結婚が不可能であると云ふやうな狀態でありますから、從つて婦人界に結婚難の聲も起り、資産無き婦人は止むを得ず一生獨り生活と覺悟を定め爲めに職業を求むることになり、遂には一家內に四人も五人もの老令孃を見るの奇觀も往々現はれるのであります。我國に於ては現今のところ此の樣な憂は少しも無く、唯其の虛榮心から學士でなくては不可とか、外交官でなくては嫌だとか富豪でなくては嫁かぬとかと、無暗と撰り好をすればこそ結婚難の歎聲も起るのでありませう、又前述のやうに一般の婦人は概ね意志が弱いのでよし一生獨身の覺悟だけは勇々しく定めても何か感激するやうな機會に遭遇すると容易く同情も爲し信念も動搖して覺悟は早くも鈍つて來で遂には煩悶に陷り神經衰弱かヒステリーを起すのが決點でせう。

アヽドウシタラー

前にも述べたが一般の婦人は定まつた事柄に向つての判斷は兎も角、變つた出來事に向ての判斷力は誠に微弱で、そして不幸にして自己の意志で判斷が出來ぬ事柄に出遂つた時には直に『アヽドウシタラ』……と云ふ歎聲を發して煩悶し始め遂に他人の力に賴つて此の解決を附けやうとする、此の『アヽドウシタラ……』の歎聲を婦人は響の聲に應ずる如くに發しますが男子になるとこんな場合に遭遇つても容易にドウシタラの歎聲を口に出さず、先づヂッと靜かに考へ込んで如何此事件を解決するかを判斷しやうとする、而してどうしても自己の腦力で判斷が出來ぬと見たところで『アヽ』とも太息を吐き『ドウシタラ……』とも叫んで大に苦惱し始める、此の事實から見ても人に賴ると云ふ婦人の天性が窺はれるのであります。

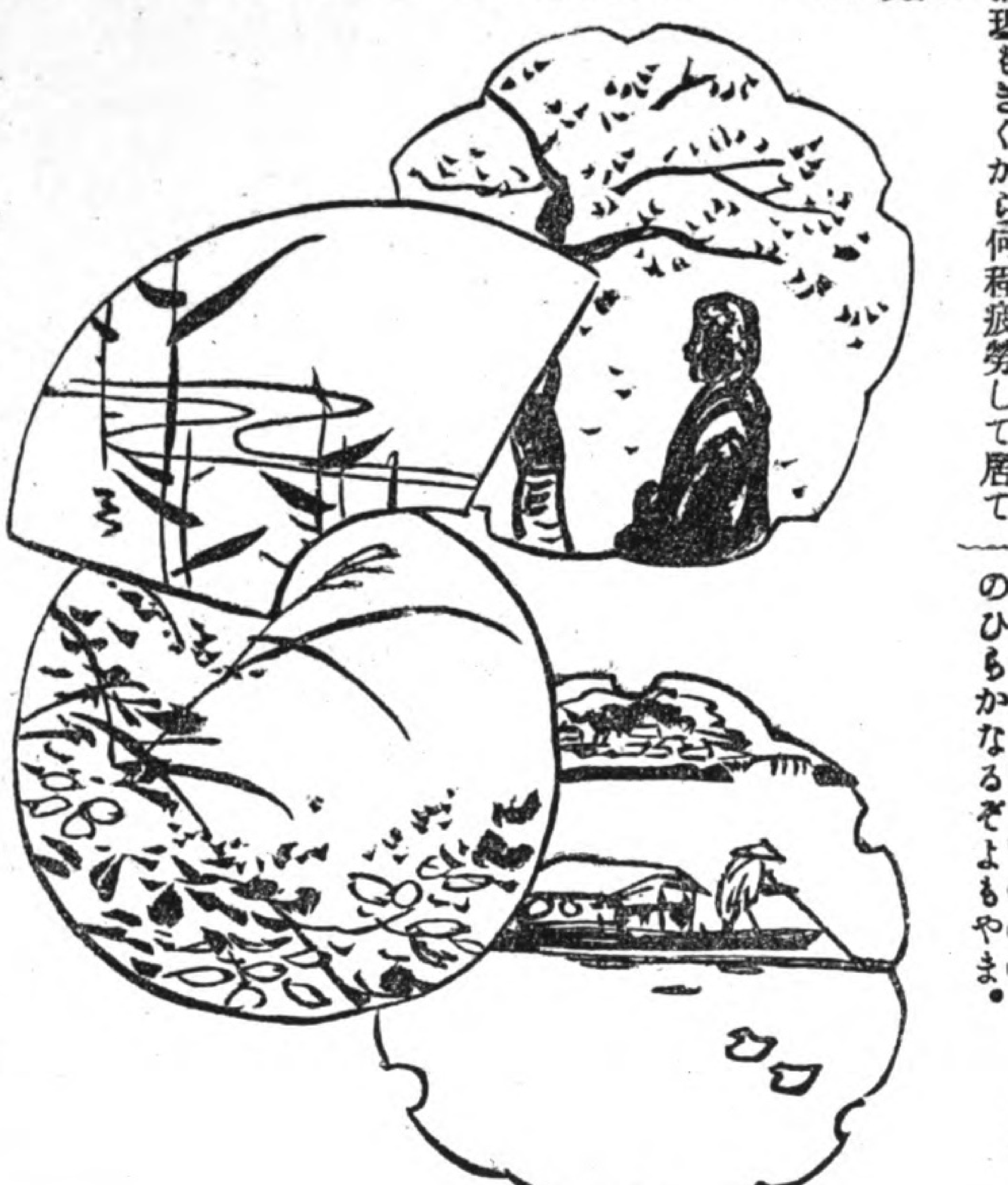
男子の腦＋神經衰弱＝一般の婦人の頭

私が多年幾多の患者に接した經驗上から申せば普通一般の婦人の平素の行動と男子が神經衰弱症に罹つた所の樣子とが殆んど同一狀態にあると云つても過言では無いと思ひます、婦人はよく雜沓の裡に行くと頭腦が痛くなるとか電車に乘ると氣分が惡るくなると云ひ、或は少しの物音にもハッと驚き騷ぐと云ふやうな有樣が常にありますが、之れと同じ現象が神經衰弱に陷つた男子に現はれて來まして、男子が此病は罹ると喜怒哀樂の情が烈しくなつて來て少しの事にも驚き、雜沓の裡に行けぬと云ふやうな狀態となります、則ち婦人の平常の腦力は男子の神經衰弱に罹つた折の腦力と同じであつて之れに由つても婦人の腦力と男子の腦力とには元來强弱の差があると云ふことは爭はれぬ事實であります。

神經が弱いから感じ易い

さて三四月の候から神經衰弱やヒステリー患者が增加するのは每年の例でありますが、之は若き時代の若い人を青春の人と云ひ熱し易い時代の人々の抱く情を春情と云ふが如くに陽春の季節はとかく情の激し易く感じ易い時でありますから獨り婦人のみに限らず男女共に此の病氣に罹り易い時期でありますが、時に婦人に此病氣の多いのは前述の如くに第一に運動の不足、第二には判斷力が弱く物事に激し易く感じ易い故に容易に逆上するに原因します。神經衰弱と云ふ事は畢竟神經が弱く爲めに感じ易く逆上し易いのであります、神經が强くて感じ强いのは宜いが弱い爲めに感じ强くなるのです、よく神經過敏と云ふ文字が用ゐられますが、過敏の二字は少しく當を得ぬ詞であります。

元來頭腦の活動は身體の活動と違つて身體には活動の程度があり長時間活動した爲めに疲勞した折には其上の活動は不可能となりますが頭腦の活動は或る程度までは無理もきくから何程疲勞して居ても無理に使へば使へぬ事はありません、其の代りには身體の疲勞は原狀に回復する事が速でありますが無理に使はれた頭腦は初めに復することが急には出來ません、かく頭腦の疲勞れた狀態が神經衰弱であります。(つゞく)



●六字の名號

文學士 下田次郎

家庭に於ける婦人は。常に良妻賢母たるの心懸けが無くてはならぬ事は勿論でありますが、單に賢母良妻たるだけに滿足せず、尙今一つ慈姑たるの心得がなくてはなりませぬ。世間には往々慈姑たる事を忘れた婦人があり、爲めに妻の惱となり、夫の惱となり、從つて一家破綻の基となり、國家の惱となる事があります。畢竟、賢母良妻慈姑、これが家庭に於て婦人が日夕唱名すべき六字の名號であります。

琴の下風

(二十四)

京都大學講師 池邊義象

●奥許三曲 ●四季の曲

(序)花の春たつあしたには、日かげくもらでにほやかに、人の心もおのつから、のびらかなるぞよもやま。

春は花さくものなれば花の春といへり、春けしきのうら〳〵と長閑に日影さしそふさまなり、人の心もかゝる場合には自から延ひゆく〳〵やうにて、四方山の霞などおもしろきさまをいへり、四方山といひきりたる處ことに趣あり。

(一)春は梅にうぐひす、つゝじや藤に山吹、さくらかざす宮人は、花に心をうつせり。

梅よりはしめて春の景物を並へ、さて櫻かざすや宮人とつゞけて、花に心をうつせりと結ひたる、言ひしらずめでたし、彼の『百敷の大宮人はいとまあれやさくらかざしてけふもくらしつ』なとより、思ひつきたる句なるべし。

(二)夏は卯のはなたちはな、あやめはちすなでしこ、風ふけばすゞしくて、水に心をうつせり。

これも上にならひて、夏の景物を並へたて、一轉して『風ふけばすゞしくて水に心をうつせり』と、結びたる例のいとめでたし。

(三)秋はもみぢ鹿の音、千くさの花に松蟲、雁なきてゆふぐれの、月に心をうつせり。

これも同し趣に言ひなして、月をもて結べり。

(四)冬はしぐれ初しも、あられみぞれこがらし、さえし夜の曙の、雪にこゝろをうつせり。

さむき限りをとり出して、雪をもて結ひとせるなり。

この一組は、四季の景物をそれ〴〵にとりたてゝ、春は花、夏は水、秋は月、冬は雪と、その心のうつりゆくさまを叙したる、何ともなけれど時候と人心との關係、おもひやられていとめでたしといふべし。

料理づくし

●筍の王子蒸し 筍を五寸位に切り、節を去り、終りの一節を殘して置きまして、是を一寸程で上から蒸籠の中に立て生玉子、砂糖、鹽などを掻きまぜたのを筍の管に注ぎ込み、切口を濡紙にて張り、之を二三分の輪切りとして吸物に用ゐます。

▲薯蕷しんじよ 薯蕷粉一杯と水二杯半との割合で、二品を鍋に入れてまぜ、弱火にて煉り、椀の蓋に詰め、半ペンのやうな形にし、熱湯に入れて茹で、浮上るの處を穴杓子にて掬ひ上げ、椀に盛り、葛餡をかけおろし生薑を添へて出す。

米山サイダー オレンヂ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小説

風馬牛

（一〇）

園蝴

今日は朽木で、華子の家と、兩方の親類披露を紅葉館でするといふので、山吹が萬事の肝煎をして、會場と兩家の間を往來しながら、尙ほ遠い親類や知人への案内まで引き受けて、大體の準備も出來たから、丁度中食の時和國屋へ來て

『姉さん最早大略濟みました、是れから朽木へ往つて華ちやんに仕度の催促をしませう：：：媒酌人といふ者は婚禮の後まで始末をせねやあならんから却々厄介なもんですねえ、：：：イヤハヤ閉口だ、ハヽヽヽ』

『ドウモお世話さま、お前さんだつて、一回人さんに御厄介を懸けたんだから、其の御返報の罪亡ぼしは當然だわ、人はね、一代に一遍はお媒人をするもんだとサ』

『然んなら、姉さんも罪亡ぼしたの？』

『しましたとも、ソラ荒田のお嫁さんね知つてるでせう』

『ア、成程、併しアレは駄目ですよ、離縁になつたから』

『其れは然うとアノ光本には困るよ、本當に變物で、未だ道子と本式の婚禮はしないけれども、あゝやつて中城さんの家で假りの式をして親子兄弟姉妹の盃までもしたのだから今日の席へ聘ばない譯にもなるまいが、彼の時私は呆れてよ、お前さんも閉口したぢやありませんか、華婿さんが學校の服で三三九度でせう：：けれども先方が主なんだから彼是いふのも不可いから忍耐したんだが、彼れぢやあ實に困りますよ、成程中城さんの云ふ通り、潔癖性だといふから、垢も着いてないし、淡泊として居るが、小倉の洋服で、お尻の所には大きな尻當が繼いであるし、靴下てへば足袋でせう、靴も大きいだから、靴も大きなことつたらないよ、車力でも彼樣な物は穿きやしませんよ、今日亦彼の風態で來られては面目を失ふからねえ、お前さん朽木へ往く前に光本へ寄つて然う云つてお呉れな『今晩のお客は自家の親類ばかりでなく又御座敷が坐禮だから羽織袴で：：紋付で來るやうにッてねえ』

『姉さん彼奴は聘ばないでも可いですよ未だ本當の式はせず又親類披露もしない位だから、彼奴は吝嗇坊だから假りの式でズル〱ベッタリにして了ふのです、お見なさいよ何時か道子ちやんを自家の方に張込んで、本式も何もしない積りに相違ないです、其内に子は出來る孫は出來るといふ母子の魂膽ですよ、私等あ彼樣な者を親類だとは思つて居ません本當に道子ちやんを棄てたやうなもんです』

『然うだけれどもね自家へも能く來るし又時々は兄哥さんや私たちに何とか彼とかいつて案内もするからマンザラ知らせない譯にも行かないので婚禮の日にも一寸話して置いたからねえ、併し變物は變物だよ彼の時ッきり中城へも來ず道子にも本式の時まで來て呉れなと云つたさうだよ』

『先あ兎も角も案内だけはしませうかね奴決して來ませんよ、何故なら先生紋付の禮服なんか無いですから、又今から拵へたつて間に合はないですもの、宜しい體の可い斷りだ。』（前編終）

◉夏向流行の洋傘

本年夏向流行の洋傘としては大體に於て昨年のと大差がありません矢張薄色が最も流行いたして居ます先づ令孃向としては青磁クリーム水淺黄極薄い鼠等の地へ刺繍をいたし又レースを用ゐミシン器械にて鮮かに加工いたしたものが需要が多ひ樣であります二十歳位より以上の御婦人向としては裏羽青滋白クリーム銀鼠等の地に共糸の刺繍をいたした物が流行いたして居ります又本年は新たに連織、彌生織、背柳織、千筋、常盤織等の模樣織や縞紋織等の替りましたものが流行して參りました年増の奥樣向としては鼠織色利久茶皮色黒茶の色合にて模樣は隱縫にいたし凡て淡泊が至極御嗜好に叶ひます細卷傘は大概雨傘用として年増向の奥樣用として御需要多い樣で御座ります柄は自然木金頭銀頭唐木曲り又純舶來風の眞直な少々太ト向にして金銀の透彫刻を付けたものが流行して居ります竹曲柄は二三年前より廢れ氣味になりました直段は四五圓位より七八圓十二三圓位又甲州琥珀地なれば二圓二三十錢位より四圓位迄紳士用としては不相替洋杖代用として細卷が一般歡迎されて居ります直段は四五圓より十四五圓位柄は自然木水牛頭金頭銀頭鐵頭唐木曲りが御需要が多ひ樣であります（甲斐絹屋主人談）

◉帝國劇場の第二回興行 帝國劇場第二回興行は四月十四日より新派に由りて開場せしが舞臺面の裝飾配合、飲食店等の設備、有繁に東洋第一のシアターなり

◉家政講義錄 女子教育の普及を國家の爲め女子大學講義を發行せる女子大學通信教育會は今春第一回修業生を出せると共に更に普く一般の希望を充たさんが爲め新に家政講義を開講せるが同講義は既に女子教育に從事せる講師が多年の經驗により初學者にも了解せらるゝ樣平易を旨とし講述せるものにて殊に科目は皆婦人の日常生活に缺くべからざるもののみを撰み講義も總ふり假名附となしあれば家庭及學窓の參考として最も適當なるのみならず自宅にありて獨學せんと欲する婦女子の理想的修學機關なるべし詳細は（東京小石川區目白臺日本女子大學校通信教育會宛）照會さるべし

◉京人形（竹久夢二著） 京人形が出た、京人形が出た、美しい愛らしい繪物語の京人形が著者の筆によつて出た、山紫に水清き京の都に呱々の聲をあげた、彼の繪のやうな人形のやうな京の乙女、その眸と唇とに浮むた微笑みは如何に著者の心を動かしたらう・白鳩の胸毛のやうな驚き易い感じと、ライヤアの幾條かの絃のやうな震動を有する柔かい線とに托して新たに謳はれた幾篇のソネット、それはやがてこの京人形の一卷をなしたのである。詩のやうな畫と、畫のやうな詩と、これや春の夜の朧月にもたとへつべきか：：：（定價四十錢東京麴町二洛陽堂發行）

●女子文壇の紀念號 現代婦人雜誌の中に於て好評を博し居れる女子文壇は、創業以來七ヶ年にして五月一日號は恰も第百號に當るを以て、其紀念號を發行する由にて内容は夢二の畫太田、渡邊氏等の特意の揮毫を添へ其他家庭向婦人向の記事を滿載せり

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

セル地と縞モスリンの洗ひかた

高山繁述

▲セル地　セル地を洗ふには、洗體百匁に對して過酸化曹達の半匁を水八升に溶かし、之れに洗ふべき物を浸漬し、揉板の上で捏ね洗ひます。さて十分に洗ひ上げたところで、水洗ひを爲、硫酸二匁水二升位から出來た稀硫酸液中に移して十分間ばかり浸漬た後、清水で二三回水洗ひし、乾かす前にざつと絞り、乾きたらば霧吹き鏝掛けを致します。又總て毛物は洗濯曹達で洗ひますれば、白地の處が黄味を帶びることがあり、石鹸で洗へば地質の縮む虞がありますので、セル地にも、フランネルにも注意して洗濯曹達や石鹸を用ゐぬやうせねばなりません。

▲縞モスリン　縞モスリンには染色に胡散のものが多く、從つて洗濯を爲れば剝げ變ずることが多いので總じて藥品をうすめて用ゐ、先づ一反に對し椿油糟の一合位を取り、之れに熱湯をかけ、稍冷却してから木綿片で濾し、其の液を十分に冷却して洗濯物を入れ、暫時浸漬た後で一方の端から軟きブラシで擦り初め、次第に洗ひ進みます、而して襟垢の附いたやうな汚れの甚いところには、絹洗粉を塗り附けてブラシで擦り洗つても宜しいのです。全部洗ひ終つたらば清水中に移して水洗ひを致します。又水洗後ざつと絞るのも差支はありませんが、毛織物は一般に水切れの悪いものでありますから、寧ろ絞らぬほうが宜しいのです。乾いた後では霧を吹き、裏から鏝掛けを行ひます。

花嫁花聟

――何故の玉の輿――

花むこは……子爵家の若君
花よめは……家庭教師

舊伯臣杉野某氏令孃幸子(二十三歳)は女子大學出身の才媛にして兼て花園伯爵家の家庭教師を勤め才色双美の譽れ高かりしが今回伯爵家の媒酌により子爵東小路基麿氏の令息にして大學卒業後米國に留學しマスターオブアーツの學位を得て歸朝した秀麿氏と婚約調ひ日比谷大神宮に於て華燭の典を擧ぐる由、花嫁の談に「今度の良縁が恩師並に伯爵家の御蔭に依るは申迄もありませんが一つには私が年來愛用して居るレート及クレームレートの力で御座います私は以前大變な荒性の者で有つたのですがこの二品を使ひ出してからまるで見變たやうになりました之が無つたら今度の縁談も無論成立なかつたであらふと私は心から感謝して居るのは御座ます云々」

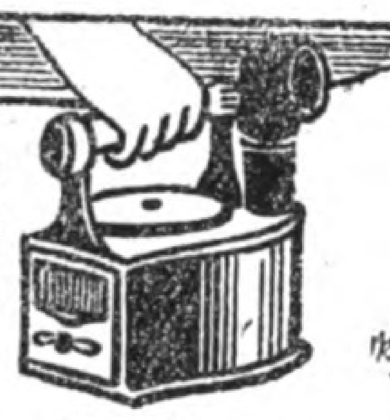
宮内省御用達
米山サイダー
米山オレンヂ
米山レモナード
米山ジンジヤ
米山ソーダ
米山サイダー
製造元 東京九段下 米山合名會社 電話番町一六六三番
登録商標

ピアノ、オルガン
ヴアイオリン、ハモニカ
西洋樂器各種
音樂圖書出版販賣
新版目録無代送呈
松本樂器合資會社
東京銀座

四季の好飲料
●チヤリーサイダー
●チヤンピンサイダ水
●レモンネード水
●ヂンジヤエール
●食麵麭
食パン
帝國大學御用
東京市京橋區南小田原町三丁目九番地
チヤリ合名會社
電話新橋一四二三番
贈答用の好適品

日本赤十字社病院御用達
蒸熱殺菌牛乳販賣所
本店　麹町區永田町二丁目
乳牛場　豊多摩郡千駄ケ谷町
鈴木牛乳店
電話新橋一九九五
振替口座二四三四
一弊店の蒸汽殺菌牛乳は最良の牛乳を壜詰の儘一定の熱度と時間とを計りて殺菌したるものなれば滋養成分の完全なるは勿論消毒後開封せざるを以て黴菌等の浸入する事なく又長時間腐敗の憂なきは壜詰殺菌牛乳の一大特色なり

夏の最新柄
（東京日本橋堺町通ふきや町電浪一二七〇番）


全國有名なる金物店にあり
木箱入金貳圓五拾錢
極少しの炭火で長時間用ひられ
和洋裁縫にも巧妙にして
使ひ心地のよきことたぐひなし
各高等女學校裁縫科御用
發賣元
東京淺草區茅町淺草橋際
阿部彦四郎商店
電話長下一九一二三・三二四八
振替口座二三六三三番

最新流行洋傘
神田區小川町通停留場前
中林商店
電話本局二四一九番

▲意匠斬新破格廉價札付
儀式用櫛笄
鼈甲櫛中差
象牙蒔繪金銀鍍金入簪指輪
寶石入帶止ピン
珊瑚翠珠電玉根掛
リボン
束髮三枚櫛
格安土州珊瑚直取引市價よりは三割方廉價御便利爲御持古るしの小間物引取交換仕候
東京市神田須田町（電話本局二〇七六番 振替口座二八一一番）
鼈甲小間物商
三井屋德次郎
京橋區新橋際 博品館内支店
神田裏神保町 東明館内支店

發賣元
日本橋區小網町三丁目廿七番地
濱口吉右衞門
最上醤油
品質優等ニシテ調理ニ適ス
釀造元
千葉縣銚子町
濱口吉兵衞

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「春雨夜靜」

――坂正臣先生選評――

天

琴のねの外に音なく夜は更てしつかにさむきはるの雨かな　豐橋市平間町五三　都築ゑつ子

（評）點滴ならで、まことの琴のねする夜、そゞろ身にしむ春の雨、風情いひしらず。

地

はるさめは軒の糸水つく〲と心ぼそくて夜を明すかな　備中足間　林秀子

（評）此の歌、いはゆる絲水の、する〲とくりいだされたる、安らかなる所に味こもれり。

人

うれひある胸をさすりて一人ぬるまくらに淋し春雨のおと　越中國氷見郡島尾村　宇城あやの子

（評）この愁、定めて美なる愁ならむとおしはからる。

佳作

椿おつる遠きおとさへ聞えきてはるのあまよのしづかなるかな　横濱　鈴木まつ子

淋しさの秋におとらすおほゆるは雨ふる春のよはにぞありける　同　人

梅の香はれやのうちまてかをりきてしつけき夜半に雨そふりける　同　人

春雨にしめる遠音の琴やみて蛙鳴き渡る夜半の靜けさ　備後　世良龜子

のどかなる春の雨夜のものがたりものいひながらうちねふりつゝ　山口　末田竹子

山清水かけひをつたふ音高し降るともわかぬ春雨の夜に　麻布　濱子

幼子ものどかに眠る春雨の夜を時としてわれはうた思ふ　芝　藤の花

花見して山へに宿る一夜さへ靜けき雨に我家偲ばる　越中　佐藤のり子

歌思ふほどにねむけを催しぬ降るはるさめのしづかなるよは　山口　末田貞節子

うたゝねの夢より醒めて窓押せばあかるき夜半を春雨の降る　宮城　齋藤なよ子

垢つきし蒲團の襟のつめたさとしみ〲思ふ春雨の夜　遠江　山下彌生子

春雨のふる夜をうしとわれ云へば月に勝ると姉はかたりぬ　岡山　宗本喜千代子

なつかしき友は訪ひ來ぬ更くるまで春の雨夜の物語せん　芝　土師利根子

庭の面の木立けぶりて長閑なるおぼろ月夜ぞ雨となりぬる　岩代　西山佐保子

草も木もめぐみわたらむふる雨の音やはらかにはるの夜ふけぬ　防州　久津摩すま子

いぬのなくこゑはかりこそきこえけれふる春雨のなやみなき夜に　同　石橋ふし子

櫻がりつかれかへりしうたゝねのまくら靜にはるさめぞふる　岩代　小川しん子

訪れし人は歸りてふくろふに靜けさそへて春雨ぞふる　千葉　土川靜子

しめやかに火桶かこみて友とわれむかしをかたる春雨の宵　靜岡　齊田とめ子

灯をかゝげ病める妹に花たよりよみきかすれば春雨のふる　大阪　北林琴枝子

みあかしの光うすれてものすごくふけ行夜中に春雨ぞふる　山城　古川よれ子

物思ふとにはあらねど軒に出て靜なる夜の春雨をきく　越中　川崎政子

灯に迷ふ蝶の羽音に窓おせば糸ひく如く春雨のふる　岩代　長谷川吉野子

春の夜は物音もなく更けにけりやなみの火影雨にかすみて　同　鷲田よしの子

なやみなき時計の針の音さえてふけゆく夜中に春雨のふる　豐橋　平松いと子

花見にもさそふ人なき山里の靜けき夜中に春雨ぞふる　岡山　西村長子

故里の友をむかへてしめやかにむかしをかたる春雨の夜中　岩手　渡邊豐惠子

雛宿のすさひなるらん春雨の夜を靜かにも琴の音ぞする　岡山　森島吉野子

群れてなく沼江の蛙聲ふけてふる春雨の音ぞしづけき　兵庫　三畑たか子

春雨の音の靜かにふくる夜はたへがたきまで友の戀しき　京橋　宇佐見こま子

軒くらきおぼろ月夜におとしのふ春の雨こそふりいてにけれ　丹後　寺田とも子

かたりあふ盲の琴たえすふくる夜の軒端淋しく春雨そふる　神奈川　足立原とく子

梅かえにかすみし月なかきけちてふりいてにけりはるの夜の雨　美作　西村清子

嵐山雨に月影暗くして花訪ふ人のなきぞさびしき　備後　莊木科子

おぼろ月みんといつれはさか柴に春雨そゝぐ音もしつけき　赤坂　清水まつ子

春雨のふる夜のゆめぞしづかなる軒のしづくの音はかりして　岡山　谷とめ子

春雨の音もしづかにふる夜半はこゝろおちゐて文ぞよまるゝ　京都　難波らく子

玉水の音をうつゝにきゝながらゆめみがちなる春の夜半かな　岐阜　野村なか子

亡き人をしのふ今夜も春の雨のふるおとさへし身にぞしみける　臺北　浮洲德子

行過ぐる跡に風あり夏野原　完來

おろし置く笈に地震る夏野哉　蕪村

凱旋（がいせん）サイダー

米山オレンヂサイダー

▲愛國文苑▼

◎和歌　蚊遣火（六月十日締切）　水邊納涼（六月廿五日締切）　坂正臣先生選

◎和歌　深夜杜鵑（五月十日締切）　雨中早苗（五月廿五日締切）　佐佐木信綱先生選

◎俳句　蛙（五月廿日締切）　卯の花（六月五日締切）　内藤鳴雪先生選

賞品
和歌●天賞……日月帖一部　地、人賞…本會記念扇子一本宛
俳句●天賞……上等繪葉書アツ〃　地、人賞…本會記念扇子一本宛

▲愛國文苑▼

移轉祝に歌書特賣

作歌學國語大意講義　金六十錢
各題作法作例用語集　金六十錢
同書續編（新題の部）　金六十錢
懐中常語雅譯辭典　金一圓廿錢
明治正風和歌一萬集　金七十錢
評釋付四季作歌の栞　金四十錢
稻門月次和歌集　金七錢つゝ
初學通信教授入門規則　無代呈
●振替口座東京一二九八番
麻布本村町百九　速成作歌學會

本會敎科用商店非賣書

ちいれもくせも　もはへうけあい　二大奇方劑

本法は女髪結師安部歌子女史の多年實地研究したる秘法是迄一大奇法なり照會者は往復はがきにて申込あれ

東京麴町區三番町六七　小林濟世園

わきが

患者にて醫療賣藥有ゆる手を盡しても全治せざるの士女は獨逸醫學界の泰斗ノート博士の最近發見わきが根治劑『フレード』を用ゐて速に其苦痛を脱せられよ〇藥價は輕症用八十錢重症用壹圓五十錢慢性頑固用特製三圓郵券代用二割增代金引換は一切謝絶郵券代用一割增のこと

本舗　電話下谷二五六九番　振替東京二〇七四三番

本郷區東片町十番地　市原製劑所

ハチ印

シャンペンサイダ

製造元　澁谷

日本橋區元大阪町八番地

懐中要藥

清心丹

高木與兵衛

繪物語

竹久夢二著（新刊）　定價四拾錢　送料六錢

京人形

この年月、憂き世の旅路は、はしなくも少年の頃聞きおぼえたる小唄を思出せば、故しらぬ甘き悲哀を身におほえ、母の乳房にすがり泣きながら夢路に入りし昔ながらの甘へ心地になりゆき譬へやうなき幸福を感ず。あゝ少年老い易く、山根嶮しき世の旅路にゆき暮れては誰か快き眠りを欲せざる、この一卷はこの意味に於て子守歌のつもりにて書きたり。思ひしげき世の人々に、一ッには……あの山越えて里へいた、さあとのおみやに何もろた……といふ日本のムスメさんに贈らばやとて。

發行所　東京麴町二丁目二番地　振替東京二〇一九一四番　洛陽堂

大賣捌　東京堂　東京文榮閣　上田屋　文林堂　東海堂　六合館　至誠堂　大阪　北隆館　盛榮

最上醬油之元祖

上

開業貳百六拾七年

宮内省御用達

醸造元　下總銚子町　濱口合名會社　振替貯金口座五〇[illegible]番

御扇子

愛國婦人會御用達

京都寺町五條下ル東側　御影堂　持阿彌

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

講談

宇都宮孝子傳　（七）

大島光利口演

時に志隅守殿首を延して隅を見給ひ 殿『關四郎兵衛、其方大目附役を勤めながら何故予が指圖を受けぬぞと仰せられる、此の目附は只今の役で申せば監視總監の如きもの、下つて警視と云ふやうな職務、主君の命に詮方なく關四郎兵衛市兵衛の傍へ膝を寄て聲張揚げ 四『筑柴市兵衛君命なるぞ下手人として鹿兒島へ差送る、左はさりながら君前にて繩を掛るに不淨なり速に御次へ立れヨ、口には雖も同藩の好誼哀れ罪なき大丈夫を下手人とする淺間しさよと思へば流石同情の涙、聲をひそめて耳元へ顏を寄 四『筑柴氏胸中御察し申す實に武運に盡たる貴殿の身の上、何とも申さうやうもなし、後々の保は同藩の者、何とか宜に取計へば決して心にかけたもふなヨ、今月は如何なる惡日か……イザ御次へ立れヨ、云へば市兵衛チロリと一瞥、忝なしと口の中、今や其席立んと爲す時間を隔て聲あり 〇『筑柴市兵衛下手人の儀暫く止り給へ武士の法に背きたり暫く〱と喃たてる大音、一同ホット息を吐花待得たる浮優華の今止めしは誰人にやと芝居ならば一同延上つてアノ聲はと申す處、襖を排ひて城代家老寺澤圖書、一兩年の大病昨夜の御祝儀さへも登城せず引籠り居たるが今日の事御子息より聞及び、コワ一大事早く連行けよと苦痛を忍んで麻上下を着、大半白髮の月代は蓬々と延、病ほろけたる面體、六十の坂を越たる老人御子息清太郎が介抱しつゝ御前へ出る、病氣中の圖書の聲としては大音なりと思ひしに御子息清太郎が父に代つて呼かけたる故、偖こそ音調凜々と喃たり、志摩守殿チロリと御覽あり 殿『オー圖書其方は未だ快癒なさぬと承はつたが些か快か登城滿足滿足、圖書は苦き息を吐 圖『ハ、圖書の病氣は俗に申す老病 何憂ふるには足ませぬが、唐津御城内の病氣は十二萬石の興廢にかゝはる事、賞罰正しからざれば其國治まらず、其家全からざるは和漢の文にも記しあり、故に倅清太郎の介抱を受け押て御前へ罷り出ました、衣紋亂れ月代延び甚だ見ぐるしき態なるが、是も火急の場合、御名君に渡らぬ給ふ我君、豈夫御咎めはあるまじと存じ苦痛を忍び登城いたしました 殿『押ての登城大儀千只萬、シテ如何なる大事なるぞ 圖『ハ、今御次にて承まはれば昨夜御酒宴の席の間違ひ、又御城外の決鬪倅清太郎悉く承知いたし私の枕頭へ來たつての物語り、病中ながら私思はず手を拍つて元和元年五月大阪の戰場に討死なしたる市兵衛の父市左衛門嘸冥途に於て滿足であらうと倅にも申し聞せ居りました處、今朝市兵衛を改めて下手人に遣はし給ふと、マハ目附下倉根小三郎只今走參つての口上、スワゆゆしき一大事市兵衛は精忠の武士、御當家の爲には水火をも辭せざるもの、渠一人は宜しからんが、前車の覆るは後車の戒め御家の名儀を尊み忠義を思ひ、只一人の母の恩愛に惹れず、殊勝の働なしたるもの、先方より何等の御沙汰もなきに周章ふためきて下手人に送り給ふなぞは御家の恥辱、此後御當家に何事が出來いたすとも誰か忠義を思はんや、是寺澤家の武士道は地に落る事必定なり、故に病中を押して登城仕る、何卒此儀御思慮あつて市兵衛下手人の儀は止り給へ、志摩守殿目に角立（つゞく）

五月一日より

特賣均一品
金壹圓均一
金三圓八十錢均一
金拾三圓均一

夏衣大賣出し仕候

特製本セル仕立袴御幸御召コート
よせきれ見切反物例に依り澤山陳列仕置候

東京日本橋區通四丁目
（松）
松屋呉服店

米山サイダー
オレンヂー

富士印
ぬいめなし蚊帳

〇詳細なる營業目錄御注文の栞り御一報次第増呈可仕候

營業品目
蚊帳生地
座蒲團夜具
毛布膝掛
寢臺卓子掛
室内裝飾品
和洋敷物
疊表花筵
麻布るゐ

近江屋
伴傳商店
東京日本橋區通二丁目
電話本局三四二六
　　　　三四三六
振替東京六一六一

近江屋
伴傳商店
東京日本橋區通二丁目
電話本局一〇三一

流行の洋傘澤山取揃へて有ります是非一度御覽下さい
甲斐絹屋洋傘店
東京神田小川町
（電話本局四八九）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人世界

五月一日發行　六卷第六號　一冊十五錢　五冊一圓半年分共税　一年一圓五錢税

◎平政子論……（黒板博士　吉田博士　芳賀博士　瀬川博士　小川幹事　笹川臨風　菊池講師　中村春雨　永井講師）

▽日本髪と束髪の優劣……女髪結數名

◎女天下の家庭は不幸なり……新渡戸博士

▽男裝して花を賣る小松原文相の姪と語る……一記者

◎女子と高等教育……（浮田博士　中川鐵三郎　堀本日南　下田次郎）

◎人情論……村井弦齋

◎女學生の言葉……下田歌子

▽婦人世界五周年記念園遊會記事……一記者

◎自殺した若い女の記……谷紀三郎

▽流行袷の意匠と縫模様……島雪子

貳千圓の福引

福引券は本號にあり。誰にでも出來る　詳細は本號を見られよ。

發行所　東京京橋南紺屋町十二　實業之日本社（郵便振替貯金口座三二六番）

五月一日より

夏物大賣出し

寄切　見切　反物　澤山取揃へ

夏季洋服地新柄種々

セル子ル本年新製品賣出し

流行ショール洋傘陳列

日本橋

白木屋呉服店

地方よりの御注文は通信販賣課宛にて御手紙被下候はゞ誠實迅速御取扱申上候

宮中御歌所寄人　中郵秋香先生遺著

不盡遺稿

菊判布装美本　挿入書畫卅餘　定價貳圓五十錢　小包料十六錢

故中郵秋香先生は一代の文豪也、而して歌文は當代獨歩の稱あり謹嚴圓熟の筆一糸亂れぬ文章味ふべく誦すべし、就中短歌、新體詩に至りては一首一句皆金玉の響あり、歌道に志す者は必ず繙かざるべからず、其他隨筆に雜録に、逸話に傳記に、考證に、書簡に、趣味汪溢編中に挿入せる寫眞版コロタイプ、三色版等三十餘個と相俟つて先生の面目紙上に躍如たり、加之不折畫伯が苦心に成れる裝幀は眞に架上の珍とするに足る、苟も文學を解する者先生を知ると知らざるとを問はず必ず一本を座右に備へざるべからず

帝國大學文科敎授　宮中御歌所寄人　佐々木信綱先生著　大口鯛二先生著

女子消息文のゆきかひ

鏑木清方意匠　木版上半紙摺　定價金六十錢　郵税六錢

本書は現代歌學の大家佐々木信綱先生が多年苦心の末に成りたる消息文を優雅なる書體の師として鳴る大口鯛二先生が習字用にと特に大字に書かれたるものなり、先生が獨特の艶麗なる文章は簡單にして明瞭に而も文例盡く總振假名付となし直ちに採りて實用に適す高尚優美なる製本は文と書と相俟ちて錦上更に花を添たるが如し、世の令孃淑女方必ず一本を机上に備へざるべからざる絕好の女子消息文範なり

女子大學校敎授　學習院女學部敎授　女子大學校敎授　鹽井雨江先生著　小野鵞堂先生著　中村春堂先生著

新體女子用文

大倉耕濤意匠　木版上半紙摺　定價七拾五錢　郵税八錢

本書は作者鹽井雨江先生が在來の書翰文の陳腐、冗長、輕薄、無趣味なる弊を打破せんとの苦心に成るもの、詞藻の清新、眞情の流露、趣味の津々、眞に書簡文の好模範たり、上欄には諸種の手紙の作方を示さる、書は斯道の大家小野鵞堂、中村春堂兩先生が靈妙の腕を以て大字小字に書き分けられ、特に振付にせられたる者なり、其艶麗優美の筆は習字の龜鑑たり、嶄新なる文と筆相俟つて明治新時代を飾るの花たるべし、乞ふ江湖の令孃淑女方疾く机上の好伴侶として朝夕愛讀の榮をたまはらむ事を

宮中御歌所寄人　中郵秋香先生著

文鑑千草の錦

增訂第八版　菊判和裝美本　定價金七十錢　郵税金十錢

本書は中郵秋香先生が三十餘年間讀書の餘暇古學復興以來諸名家の文中金玉の響あるものを抄錄せられしが積んで數十卷と成りしを中に就て男女學生の模範となるべき美文、記事紀行、論説、消息、物語體等無慮數百篇を選出せられ之に加ふるに當代諸名流の文を以てせられ、特に上欄には要語數萬を載せ作習の模範と應用とに供せられしは他に其比を見ざる所、讀者本書を常に座右にして能く之に熟せんか、筆を把るに臨みて千萬言の長篇大作も忽ちにして一氣呵成する事恰も神ありて吾を助くるの思あらん

宮中御歌所寄人　學習院女學部敎授　中郵秋香先生作　小野鵞堂先生書

新編手紙

男子用　木版半紙　摺無類の美本

女子消息文の手ほどき

男女各一冊　定價四拾五錢　郵税六錢

本書は中郵秋香先生の作にして書簡文獨習者の爲に通俗平易なる實用の文題百餘種を總振かな付にせられたるは他に其比を見ざる處、特に小野鵞堂先生が大字に書かれたれば習字の手本として此上もなき良書なり

新編書簡文例

男子用　木版半紙　摺製本頗高尚優美

新編女子書簡文例

男女各一冊　定價各六拾錢　郵税八錢

本書の文例は現代の文豪中郵秋香先生の腦漿より迸出せしものなれば、一言一句津々たる趣味あり、繁に流れず簡に失せず、擬古に陷らず流俗に同せずして眞に今日書簡文の好模範たり、加ふるに書は筆硯界の巨擘小野鵞堂先生の手腕に成りしものなれば又習字の龜鑑として上乘の書なり、特に上欄語數千句を掲げ書簡文を作習せんとする人をして自由自在に意を達せしむるの便に供せられたるものなれば、新篇書簡文法式と相俟て斯道の完璧と稱すへきなり

◎發兌　東京京橋區中橋廣小路六番地　電話京橋三七七、振替東京四一〇九　前川文榮閣

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

苟も美容たらんと欲する諸姉は先づ

レーラーロラ

Lait-Larola

を愛用せざるべからず

此化粧用美容劑は冱寒、寒風、硬水に堪ゆる樣皮膚を保ち凍症、ヒビ、アレ、アカラ顔等を防ぐに尤も妙にして且つ皮膚を柔く滑に色白く若やかにす四季を通じて皮膚を細かに完美にす

M. BEETHAM AND SON,
CHELTENHAM, ENGLAND

製造所 英國セルテンハム、エムビーサム、エンド サン商會

各地著名の化粧品店にて賣捌く

於日英博覽會

最上醬油

大カギダイ

賜名譽大賞牌

下總銚子港
釀造元 鶴屋吉兵衛

到る所の酒醬油店に販賣す

半ゑり　帶揚　おし帶　帛紗　伊達卷　ふくろ

京都 京極四条南
ゑり清

電一九三〇

良薬にして口に甘し

たんせきに

あさだあめ

淺田飴

すきはらにめし

たんせき ひきかぜ はいびやう よわきも によし

東京本店 堀内伊太郎
大坂支店
全國取次薬店

定價 金拾錢 金貳拾錢 金參拾錢 金五拾錢 金壹圓

別染すゐなゆかためりんす友染新形いせさきめいせん其外夏物全部取揃

人形町通よし町
赤のれん おばなや本店 電濱四三四五
向ふまへ おばなやめりんす店

●婦女子の自宅修學法

●新學期開講●此際至急入會すれば入會金全免の特典あり！修學に最も好都合なり！

女子大學家政講義

主要科目

○修養講話 ○修身談 ○教育學 ○實驗心理 ○見學研究

○法制大意 ○經濟大意 ○社會衛生 ○家庭理科 ○家事

○作法 ○日本料理 ○西洋料理 ○裁縫 ○生花

○家庭園藝 ○自然研究 ○文藝 ○文學研究 ○其他科外として地理歷史講話生理等種々揭載す

毎月二回發行 一ケ年修了 會費一ケ月五十錢 半ケ年貳圓八十錢 一ケ年五圓四十錢 全期十圓

○最も低廉なる學費にて婦人の處世に切要ある一切の學藝を秩序的に修學せんとする婦女子は本講義に據らるべし講師は皆多年女子教育に經驗ある大家講述平易懇切にして初學者も難解の憂ひなく獨習し得らるべし

△內容見本附き會則申越次第進呈

東京小石川目白臺 日本女子大學校通信教育會

發行所 東京小石川區久堅町一〇八 精美堂 電話番町九二 振替東京二八三三八

御手紙にて三越へ御注文

目下流行せる子ル、セル

は申すに及ばず季節〳〵の流行品と必要品とは御手紙にて御注文下さりますれば、早速小包郵便にて御届け申上ぐべく、御便利は此上もございません。

三越呉服店は呉服太物を始め、洋服、時計、指輪、小間物、化粧品、玩具、靴、鞄、文房具、美術品など、何呉となく取揃へ品質の極良いものを極て安い直段で差上申ます程に

明日とはいはず今直に、御注文下さる樣ひとへに御願ひ申上ます。

「寫眞版入地方御注文案内書」は御申込次第進呈致します。

越

東京駿河町

三越呉服店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

醫院案内

…（診察時間）…
○産科、婦人科 入院應需
月、水、金午前 橋爪病院（日本橋區龜島町一の廿九）（浪花二六〇番）
毎日二時より五時迄 自宅 本郷區眞砂町十五番地（下谷二四八七）
醫學士 橋爪哲造

四ッ谷左門町五番地
産科婦人科 小兒科專門
佐伯醫院
電話番町（二〇一六番）

●小兒科に殊に營養障害
淺草下平右衛門町十七
内山小兒科醫院
（電下二参六五）
院長ドクトルメヂチーネ 内山好十

内田病院
淺草區新福井町二（瓦町電車停留場際）
病院落成に付隨時入院の需めに應ず
小兒科專門 院長醫學士 内田愼太郎
副院長醫學士 瀧原五郎
（午後診察）（電話下谷七一八）

◎産科婦人科
芝明船町十九虎門外
電話芝二六四二番
櫻井克巳

轉院
午前分院　（分院）日本橋區白木屋横通（平松町六）
午後本院　上野公園音樂學校通（四時より六時）
岩佐病院　出診 毎水曜日 午後
腦脊髓病院
神經衰弱、ヒステリー、中風、癲癇、神經痛
運動障害等。施療（火木土十二時より二時迄）
醫學博士 土田卯三郎
電話下谷三五七〇番

産科婦人科 天本醫院
下谷區仲徒町二丁目卅五番地
院長 醫學士 天本治
（入院隨意）（電話下谷二六六九）

◎産科。婦人科
◎内科。小兒科
小石川西江戸川二六
電話番町（一四二六）
森種太郎

日本橋區濱町三丁目七番地
電話浪花一六〇番
濱町 産科 婦人科 病院
院長醫學士 小林八十七
醫學士 大瀬貴明
醫學得業士 杉原格藏
醫學士 佐野綱次郎

●産室増築落成
日本橋區濱町貳丁目十一番地
産科婦人科稻生醫院
電話浪花三三四三番

岩佐病院 日本橋區蠣殻町二丁目廿三番地
（電話浪花六七九番）
診察時間 自午前九時 至正十二時
内科婦人科 院主 岩佐純
内科 院長ドクトル 岩佐新
外科 醫學士 山村正雄
産科婦人科 醫學士 佐久間兼信
腦病脊髓病 醫學博士 土田卯三郎

◎院長ドクトル 木村順吉
京橋卅間堀一丁目角（電話京橋一六七〇）
婦人科産科 木村病院

醫學博士 榊順次郎 毎日午前診察
醫學士 久保德太郎 日曜水曜午後 婦人科的外科
醫學士 田代謹二 火木土曜日午 泌尿器病及内科
●施療火木土午後自一時至二時
●施療姙婦産婦ヲ取扱フ
婦人科産科 榊病院
麹町區三番町三三（電話番町三〇三三）

内科診察 宅診午前及夜間九時迄 往診午後
麹町區四番町四番地（電話番町貳三八四）
醫學士 中山敏樹

鷲山改姓
産科婦人科小兒科 女醫 吉岡彌生
診察時間 院長 毎日午前八時より
醫員 毎日午後三時より
内科部長 醫學士 武智基造
診察時間 火木土午後壹時より
病室及産室の設けあり入院隨時
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院 電話番町二二五七

○婦人科○産科○
飯田橋電車停留場脇
中島襄吉

産科婦人科
小兒科
牛込區納戸町三六
電話番一〇四〇番
野中醫院

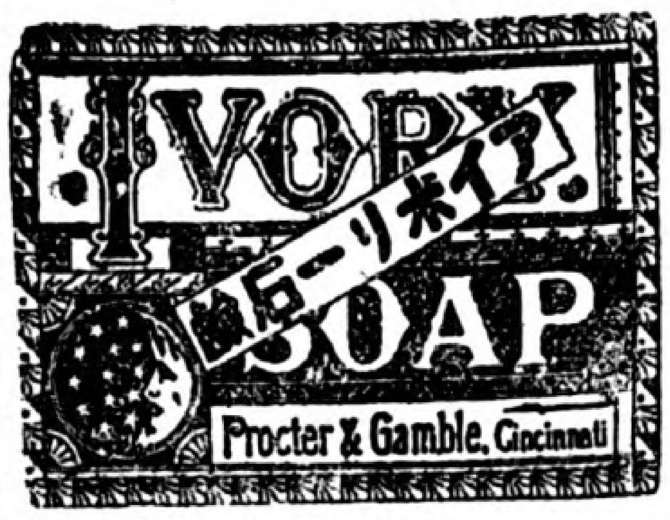
東京赤坂 青山病院
帝國腦病院
腦神經精神病
院長 ドクトル 齋藤紀一
醫學士 田澤秀四郎
醫學士 望月温象
電 特芝二七四五 芝二六六五

内科橋田病院
（錦町三丁目電車停留場側）
●隔離室設備（診察午前）（入院隨時）
院長 醫學士 橋田茂重
病院 神田錦町三ノ一九（電本二三三九）
自宅 牛込甲良町一一（電番一九六）

東京神田區美土代町三丁目十七番地
内科一般 午前宅診 午後往診 板垣亨
電話本局貳千九百七十番

東洋内科醫院
東京神田區駿河臺鈴木町二番地（錦茶水橋附近）
電、本八八八番（病院用）八九八番（私宅用）
院長診察、月、水、木、金、午前、入院、診後應需、松田、林、峰間三副長八目下當院ニ在勤
院長 醫學士 高田畊安
南湖院
神奈川縣高座郡茅ヶ崎町相海濱（稅停車場牛里）
電、チカサキ二番
河野、高橋、兩副長八目下當院ニ在勤、院長診察土曜日午後、入院、診後應需、

耳鼻咽喉科
神田區美土代町一丁目十六番地
醫學士 榊田義衛
電話本局三一九〇



日本輸入品に限り包裝紙に斜に「アイボリー」石鹸と記入し一見模造惡質石鹸と判別に容易ならしむ御購求の節「アイボリー石鹸」に御注意を乞ふ

本郷御茶水
順天堂醫院
電話 事務用 長三七八
病室用 同 三六九九
下谷 同 三〇三九

腦神經精神病科
東京龜戸町 電話浪花二五五二
加命堂腦病院

愛國帶
●一本代價貳圓拾錢
地質は綿七々子九寸巾二丈一尺ヅカイ裏
紗形本染
模樣之考案は高尚にして優美見本御入用之方は御申込次第差上ます
東京市麹町區九段坂下
愛國婦人發行所
電話番町 五二〇
振替東京 一一三八一

毎日午前八時より午後九時迄院長診察
婦人病ヒステリー症たむしにきび等
皮膚病 諸病 梅どく りん病 ぢ 消渇 婦人諸病
血の道 子宮病 月やくとまりたる病 子なき婦人
神經 記憶力減衰 陰萎夢精遺精 早漏陰 發育不充分
衰弱
生殖器病 わきが
▲病狀を記し郵券六錢を送れば其病を速治する專門醫中央醫院々長處方の特効新藥說明書を送る
東京淺草瓦町廿八 瓦町電車停留場横 中央藥院
廣告 梅どく りん病 わきが 生殖器諸病 ぢ
東京淺草橋通瓦町廿八瓦町停留場横 中央醫院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

若やおもちゃ御入用の節は

東京銀座の　伊東屋玩具店へ御註文下さい

市内は電話で京橋二千五百弐拾参番　地方はお手紙で

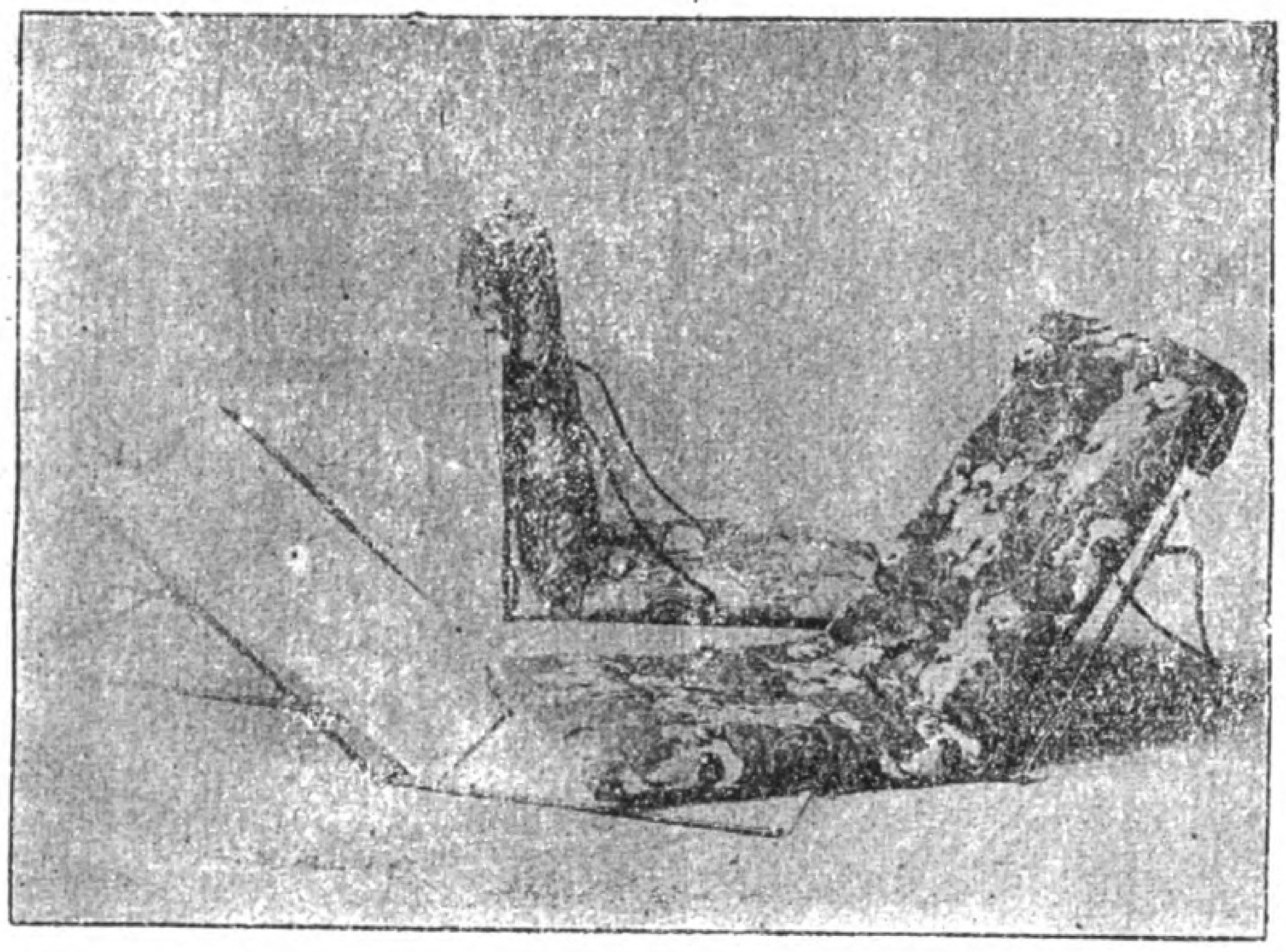
おもしろいおもちゃ　おためになるおもちゃ　實物模型のおもちゃ　おもちゃおもちゃおもちゃおもちゃの種類は大概ありまず

東京市京橋區新富町七丁目六番地　石鹸製造業　相馬帝國社

常ニ使用スレバ色ヲ美クシ肌ヲ滑ラカク光澤ヲ出ス本品ノ特色ハ使用ノ際永ク湯水ノ中ニアルカ又ハ紙ノ如ク薄クナルマデ使用スルモ溶ケ又崩レルコトナシ

嫁入道具　京都髙島　大伴タンス問屋　電一五八〇

一森式座椅子は一個にて圖の如く種種に使用することを得て工合最もよろしく室内又は汽車中に於ける身體慰安の要具なり



特約店　東京　大阪　朝鮮　三越呉服店

製造發賣元　東京市芝區下高輪町二十一番地　樂民堂　電話芝一〇九五番

LACTAGOL
ラクタゴール

無乳産婦の福音！

本品ハ「ベックマン」博士ニ據リテ報告セラレタル無臭美味毫モ副作用ナク蛋白質及脂肪質ノ多量ヲ含有セル乳汁ヲ分泌セシムル新藥ニシテ本邦ニ於テハ「ドクトル千秋雄雌郎氏」ニ據リテ既ニ二十六人ノ産婦ニ試用セラレ其症ニ據リテハ服用ノ初日ニ於テ効能ヲ發揮シ他ノ場合ニモ七八日間連服セシムレバ完全ニ奏効ス

（用法容易）「ドクトル千秋氏」ノ報告印刷物御要求ニ從ヒ無代進呈ス

一日用量十五瓦ニシテ百瓦入壹函代價參圓也

乳汁分泌催進劑！

東京市日本橋區本石町三丁目　藥種問屋　中村瀧次郎

振替貯金口座東京九四三番　電話本局｛長八六九番　三五六九番｝

赤十字社總裁　愛國婦人會總裁　閑院宮兩殿下御嘉納藥

赤十字院長橋本子爵處方　救世丸

宮内省侍醫岩佐男爵處方　壯婦丸

胃腸肺病　原因療法

婦人諸病　民間療法

強力なる消化、殺菌、防腐、滋養の作用を具備し胃腸を健全ならしめ諸傳染病を豫防するに偉功を奏し征露丸に改良を加へたものなり

ヒステリー、子宮病、産前、産後、血の道一切、又めまい、頭痛、不眠、便秘、神經衰弱等には男女共に偉功を奏し貴女紳士間に信用を博せしものなり　○全國有名なる藥店にあり

○販賣取次は本舗又は代理店に申込まるべし

○藥價拾錢　參拾錢　七拾錢　壹圓參拾錢　壹圓八拾錢

○藥價は爲替又は振替貯金にて御送金ありたし

○効能書贈呈

東京深川公園　本舗　合資會社　福井堂　電話浪花長五六九　振替東京二三六六

長崎特優産

愛國婦人會總裁宮殿下御嘉納ノ榮ヲ賜フ何ゼ？

東京婦人はカネノツジ洗粉を盛に御用ゐになのでしよか

カネノツジ洗粉

原料が植物質で石鹸の如く刺戟物を含まず玉の如き肌花の如き顔せ何れも自然の美を益〻美白ならしむる効用の顯著なるためです

長崎市豊後町　本舗　松尾勝平

振替口座福岡二〇七四番
見本一ポンド送料共十錢
一ポンド送料共二十二錢
六ポンド送料共壹圓容器ヲ添

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人取次販賣所
東京市京橋區桶町三二番地
田口組
(電話京橋九三二)

皆様
今日もまた丈夫で元氣で心から愉快に暮す様
「ゼム」を今すぐ召上れ
消化と毒け
ゼム
懷中良薬 口中香錠
到る所の賣薬化粧品店にあり

帝國貯蓄銀行
銀座一丁目河岸通(電話京橋八二五 八二六)
飯倉支店　飯倉三丁目
赤坂支店　赤坂表一丁目
四谷支店　四谷大通り
本郷支店　本郷一丁目角
神楽坂支店　牛込神楽坂上
吾妻橋支店　淺草雷門前
須田町支店　神田須田町
米澤町支店　兩國米澤町
品川支店　南品川一丁目
横濱支店　横濱吉田町
代理店　日本橋坂本町田中銀行
●一錢以上何程にても御預り最も御便利に取扱ふ●毎月五日迄の御預金には全月分の利子を付すべし

ばら歯磨
粉末の微妙芳香の馥郁眞に是れ衛生經濟兼備の逸品
本品の大袋入は家庭用として徳用也
鍍付鑵入は旅行携帯に便なり

倫敦巴里なるゴスネル會社の製を望まるゝならばきゝ磨歯の來船るなる良優（まる望を製社會ルネスゴばらならゝるまき磨歯の來船るなる良優）
ゴスネル會社
倫敦　巴里

石鹸も色々ありますがおためしなさい此マルヘー石鹸を如何なるあれ性の方でも大丈夫御安心なされ御膚の守りとなります
マルヘー石鹸　一個廿五錢　三個入七十錢

大阪東區平野町五丁目
マルヘー石鹸本舗　堀口平兵衛
振替口座大阪八四一番

サンデン電氣帯
●諸治療無効絶望の方と慢性病に惱む人とは是非一度サンデン電話帯を使用せられよ
説明書奏効證明書無代進呈
▲定價　五圓以上三十圓迄　十種
本店　東京市京橋區尾張町二丁目銀座通(電話新橋四一二二)(振替東京一八四七三)
支店　(大阪東區心齋橋筋博勞町南入西側)(横濱吉田町一の廿九 電話一九三)
サンデン電氣商會

舶來簡易殺鼠劑
Common sense Exterminator.

代價
半オンス入　五拾五錢
一オンス入　壹圓五拾錢
三オンス入　貳圓九拾錢
六オンス入　五圓六十錢
一ポンド入　拾壹圓
原名　コンモンセンス、エキスターミネートル
●本劑の効力に就ては發賣以來既に諸官衙を初め一般使用者の實驗に依り古來未曾有の殺鼠劑として好評を博せり而してオンスなる本劑は優に百頭以上の鼠族を斃し得るが故に在來の殺鼠劑に比して大に價廉なり且つ本劑は他の藥品の如く使用上復雜なる手數を要せず又更に危險の虞なし
●現品には詳細説明書を添付す
蠶具製絲諸器械詳細圖解目録無代進呈
東洋一手發賣元　東京市下谷區仲御徒士町三丁目五十九番地
日本蠶業株式會社藥品部
振替東京五一二六番●電話下谷一二五四番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

有名なる

ハカマヤ

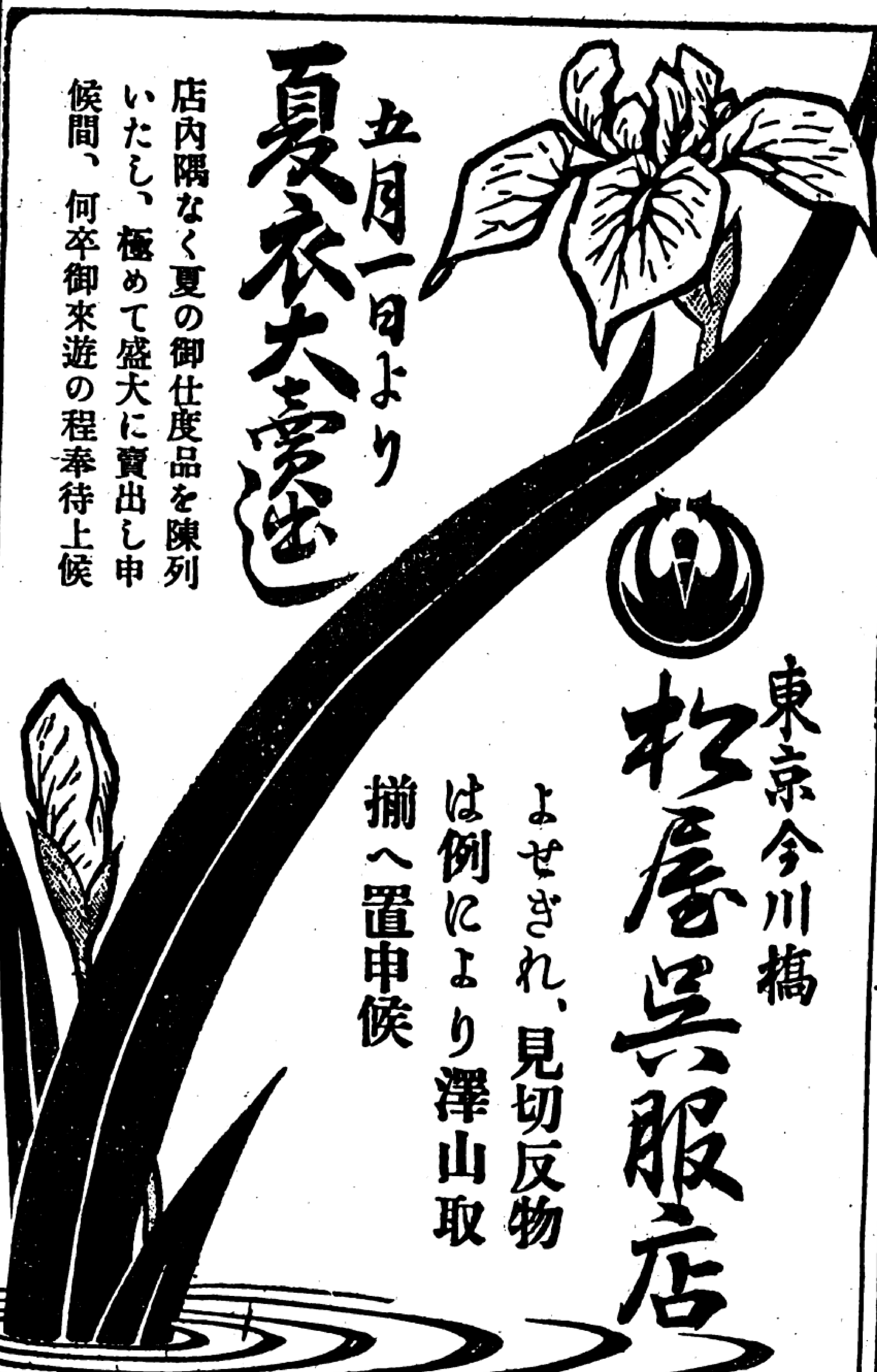
精撰廉價
堅實懇切
裁縫巧妙
染色保證

東京神田小川町
影山專門店
電話本局　三八二六番

●東洋一製造大販賣 卸し小賣
●かや 蒲團綿類 ざぶとん
外濠線駿河臺下停留場前
神田表神保町二
矢田本店
電話本局二〇一八番
市內無賃配達
諸官省御用 (や)
●階上縱覽御隨意 珍柄高等品澤山有り
●綿質保險附●確實大勉强●正札引なし

五月一日より
夏衣大賣出

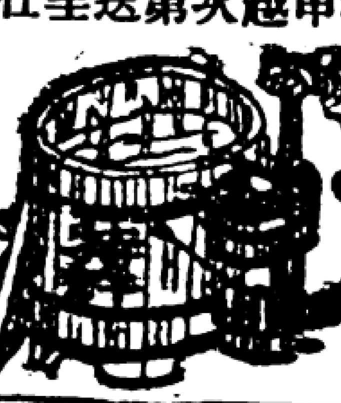
店內隅なく夏の御仕度品を陳列いたし、極めて盛大に賣出し申候間、何卒御來遊の程奉待上候



東京今川橋
松屋呉服店

よせぎれ、見切反物は例により澤山取揃へ置申候

名和式テンピ



嘗つて婦人世界誌上に於て弦齋夫人の料理中其の効用を稱せられたる和洋兼用テンピなり
定價 大二圓七十錢 中二圓廿錢 小一圓七十錢

說明書及商品目錄御申越次第送呈仕候

東京日本橋區蠣殼町二ノ十五
名和商店
電浪一一七七番
振替一〇二五四
支店 神田和泉橋通り松永町十八

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話(特)本局六七三番
電話本局四九八番

定期預金	六ヶ月	年四分五厘
當座預金	百圓に付 日歩	五厘
特別當座預金	同 日歩	九厘

一美一

クレームシモン

佛國レモン會社製

羽二重のやうに滑かに薔薇の如く美しく色を白く艶をよくする美顏用

三越吳服店を始め到る處の化粧品店及小間物店にあり

一美一　一美一

子宮病血の道自宅治療法

子宮病血の道の一般的の病狀と云へば、こしけがある、腰が痛む、下腹痛む、下腹が張る樣な條張る樣な容體となり足が引つれて痛む、月經が不順となる又月經の時に下腹が痛む、頭痛がして逆上がする肩は凝る手や足が冷える、消化が惡い便通も惡い神經が過敏になる物事が氣にかゝる、過ぎ去つた事や取越し苦勞をして喜んだり怒つたり、何事も疲勞し易く嫌やになり、短氣となり氣不性で氣六ケ敷なる等其他種々の病狀が起つて來るのみならず此の樣な容體の婦人には姙娠せない場合が多いので、身體はアチコチ惡い何時治るか知れないので不快に月日を送る樣になる、可哀想に艶麗花の如き美人や花嫁が此苦痛を覺え小便は度々したい白帶下はある陰門の周圍はぬれて不潔で臭氣甚だしく子宮內膜炎を起し腹膜炎を續發して一命を失ふことがある、萬一九死の中に一命を拾ふことが出來ても紅顏の美人又見るカゲもなくしそれて、憂欝症となり、ヒステリー症を起して落莫たる家庭に其身の不幸を泣き喞つ夫婦の多數なるは痛歎の次第である實に子宮病血の道ヒステリー病者程氣の毒な者はない、然るに世間には此の弱點に乘じ妻の病氣が治つた藥とか何處で發見したとか影も形もないことを云つて自己の粗藥を賣付けるものあるとのことだ、日々多數の患者が訴へて救を求めに來る賢明なる婦人諸君は此の樣な山師の甘言に迷はぬがよい

此婦人病の化學的治療法に就てはハガキにて東京市京橋區弓町二二大日本化學研究所へ申込みあれば症状や病理や治療法や不姙の原因等を詳述せる册子を無代で進上しますから遠慮なく直に申込まれよ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

女子文壇

五月一日發行
紀念第百號

▲附錄　夢二氏筆　木版
奉書紙十六度刷　本誌二倍大極美

紀念百號　倍頁　美裝　挿繪　寫眞　木版　價卅錢　送料一錢五厘

現代婦人百人一首◉脚本『祇王』……山崎紫紅◉わが好む演劇と音樂（四十八名知名大家）◉與謝野晶子論（和田英作、藤島武二、森田草平、河井醉茗、窪田空穗、馬場孤蝶）◉家庭の仕事が減じて來た（大塚博士）◉將來の男女の關係（上杉博士）◉好んで藝術家たるに及ばず（井上博士）◉西洋の若き男女の交際（藤島武二）日本百文豪◉世界百文豪◉女庭訓◉近頃の婦人問題（鳩山春子）◉母としての自覺（日向欣子）◉正直に語る男子の見立（ほとゝぎす）◉人の生命と食物（澤田順次郞）◉若き女の身の上話◉誌友の小說文章詩歌

◉五月號　少女　例に依り面白い記事多し　價金拾錢

東京京橋區大鋸町　女子文壇社發行　賣捌全國書店

鉛毒の虞のないのは勿論、附着はよし、のびもよし、薄くも濃くも付いて、斑が出來ず、顏白粉にも襟白粉にも用へるのが、最優等の白粉であります、此最優等の資格を有するものは御園白粉であります。

御園化粧品
製造本舖　伊東胡蝶園
發賣元　丸見屋商店

專賣特許
登錄商標　吹留眞綿

東京麻布新堀町
（株）吹留眞綿販賣部

京都市六角通高倉西入
特約販賣店　藤井商店

讀む畫報　新婦人　見る雜誌

妖冶優婉と編纂方法の斬新とによりて雜誌界のレコードを破りたる新婦人第二號出づ

毎月二回一日發行●五月一日發行

五月の卷　一冊貳拾八錢　郵稅貳錢五厘

ヴエニスの女（油繪廿五度摺）……川村清雄筆
雨の日や門下燕子花（極彩色額面用口繪）井川洗厓筆
失戀……（コロタイプ）實寫眞額面用

見るものの概目
御渡英あらせられたる御名代の宮妃殿下◉閑院宮女王殿下と御眞筆◉新婚當時の長井藥學博士夫妻◉佛光寺裏方董子の方◉新婚せられたる德川圀順侯夫妻◉桂首相夫人◉濵井子爵令妹錦子◉養鶴場内の前田子爵夫人◉看護婦に扮せる柳原伯爵夫人◉竹屋昭子姬と其作品◉盛裝せる宮中女官女貿易家熊谷かれ子◉戶崎紅華氏令孃◉閨秀文學家物集かず子女史◉閨秀畫家大久保錦麗女史◉閨秀音樂家佐々木いく子女史其外名流小照百餘圖優美アート・ペーパー刷！

讀むものの概目
婦人と參政權問題（大隈伯）平安朝の婦人觀（久米文學博士）弘事夫婦の結婚事情（長井藥學博士）時代と婦人（今村控訴院判等女學校出の女の家庭に容れられざる理由（三輪田文學士）更人の借金を返した苦心（野守事務官夫人）男性の要求する女性（澁谷小波）

妾の眼に映じた男……平塚明子
女は此如き男を好む……小島ふみ子
妻に對する良人の氣焰……櫻井法學士
女優と周圍の壓迫……森律子

附錄　五月　家庭日記
四六二倍判油繪表紙　口繪額面用石版美術紙　別寫眞版三十二頁

東京本郷龍岡町　聚精堂　賣捌全國到る所の書林雜誌店

水晶おしろい
すきとうりたる水にて付ると白くなる流行の薄化粧料にして目立ぬ故男子にも用ひられる
定價　五拾錢　貳拾五錢　拾五錢
本舖東京　大和屋

愛國婦人廣告取扱
神田三河町一ノ一九　博報堂
京橋區宗十郞町一七　正路喜社
愛國婦人海外廣告一手取扱
京橋區南槇町七　大鐵社
京橋區南紺屋町一　星社
神戶市元居留地仲町三八　東洋廣告取次會社
神田須田町廿七　金蘭社
京橋區廣告社

明治四十四年五月一日發行（每月二回一日、十五日）（定價金三錢五厘一ヶ月金七錢郵稅不要）（廣告料一行金六拾錢）編輯兼發行兼印刷人山澤俊夫　發行所　東京麴町區飯田町　愛國婦人發行所　人竹內貞三　電話番町千七百四十五番　同五百二十番　印刷所　東京市小石川區久堅町　博文館印刷所　振替貯金口座東京壹三八一番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附錄 愛國婦人會記事

本部記事

▲總裁殿下の御招待　地方長官會議の爲め上京中なる各府縣並に北海道本會支部顧問は去る十八日午後三時總裁宮殿下の御招待に依り永田町御本邸に參集したるが、同三時三十分に至り總裁宮殿下は名譽會員伏見若宮妃殿下と共に御機嫌麗はしく御臨席被爲在、左の御諭旨を賜はりたり

本日茲に諸氏と相見るは欣喜の至りなり、夫れ本會の事業は年を追ふて發展し今日の盛況を見るは全く諸氏盡瘁の結果にして尚ほ一層會務を擴張し本會の主旨を貫徹せんには諸氏の力に俟つもの益〻多し今回幸に諸氏の上京に際し聊か慰勞の意を表し併て將來邦家の爲め本會に援助せられんことを望む

右に對し服部兵庫支部顧問一同を代表して答辭を述べ、畢て立食の御饗應を給はり、午後四時半より隨意退散したるが、當日御召の榮を得て參集したるは阿部東京支部顧問外支部顧問三十六名及副會長阿部伯爵夫人、理事毛利公爵母堂、同濱尾男爵夫人、同棚橋絢子、同三輪田眞佐子、評議員三井五十子、同山脇房子、同龜井眞洲子、同男爵夫人關郁子、同古市幸子、同前子爵夫人丹羽花子、同柳谷千代子、同跡見花蹊、同有島幸子、同押川愛子、同下岡松子、同男爵夫人松平須磨子、同男爵夫人尾崎八重子、同男爵夫人有地捨子、同男爵母堂松村琴子、同子爵夫人戶田時子、同渡邊源子、同仁杉歌子、顧問二條公爵、同岡部子爵、同波多野男爵、同松井修德、同高橋新吉、同關淸英、同山田春三等の諸氏なり。

▲總裁殿下京都支部總會臺臨　來る五月二十一日京都支部に於て創立第十周年記念總會開催に就き、總裁殿下には二十日午前新橋發急行列車により御台臨遊ばるゝ事に決定したり。

▲理事參事會　去る四月十九日本部樓上に於て、理事參事會開催、阿部副會長、濱尾三輪田兩理事、丹羽古市關各參事會員出席、第十回總會に關する件其他に就て種々協議ありたり。

▲第十回總會　本部第十回總會は五月九日午前十時三十分より日比谷公園內に於て開催の事に確定し皇后陛下の御台臨を賜はる旨御沙汰相成りたり。

▲來賓茶話會　同じく十一日午前十時より午後四時迄九段偕行社に於て茶話會開催の豫定にして招待人員は前號既報の如し。

▲各支部主事事務打合會　五月十二日より三日間各支部主事會を開き事務萬端に就て協議ある筈なり。

▲濱離宮拜觀　總會の翌十日佩有功章者並職員に限り濱離宮の拜觀を差許されたり又一般會員には遊就館大隈伯爵邸其外十ヶ所の觀覽劵を贈呈す。

▲教養生四十三年度學年成績　を擧ぐれは左の如し。

●中學二年生學年成績

姓名	及落	席次	總評	平均
長谷川信	及	十五	優等	八七
永井一朗	及	二四	優等	八六
大坪進	及	二九	良	八四
金子漸	及	三三	優等	八二
齋藤宗次郎	及	四九	良	七八
都留龜太郎	及	五九	可	七六
秋山末太郎	及	六一	良	七六
前島幸寛	及	六四	良	七四
藤田右三郎	及	八七	可	六八
渡部一美	及	九三	可	六五

(備考)席次は同學年生百九名中に於ける成績順とす。

●中學一年生學年成績

姓名	及落	席次	總評	平均
河合盛經	及	二	最優等	九五
桑田學榮	同	一四	優等	八九
小酒盛	同	一五	同	八八
萩原正傳	同	一六	同	八八
山口久太郎	同	一七	同	八八
梶田金義	同	一八	同	八八
永井鞆之助	同	一九	同	八八
國友來雄	同	三〇	同	八五
山脇芳太郎	同	三一	同	八五
伊林定太郎	同	三五	同	八三
久保犾隆	同	三六	同	八三
山田榮	同	四八	良	七七
位田信一	同	五八	良	七六
渡部富太郎	同	五八	同	七四
岩田芳盛	同	六〇	可	七四
小川右一	同	七一	良	七二
能見義憲	同	七七	可	七〇
金谷農夫	同	八七	可	六八
山川敏雄	落		劣	五八
山田貞一郎	落		劣	五二

(備考)席次は同學年生百〇九名中に於ける成績順とす、又本學年生黑川留次郎は病氣の爲め歸郷療養中に付退學せしめたるにより受驗せず

●尋常小學六學年生成績

姓名	及落	席次	操行	平均
彊原庫三	及	五	乙	八
佐藤穀一	同	六	乙	八
北野紫次郎	同	七	乙	八
吉原秀雄	同	八	甲	八
荒木彌太郎	同	九	乙	八
大田茂	同	一一	甲	八
鈴木清直	同	一二	同	七
土屋吉之助	同	一三	乙	七
酒井稻松	同	一四	乙	七
富田豐造	同	一六	乙	七
久保滿雄	同	一八	乙	七
船越榮藏	同	二〇	丙	七
井上眞平	同	二二	乙	六
金丸重雄	同	二三	乙	六
伊藤藤三郎	同	二四	丙	六
島田一藏	同	二六	丙	六
大和田卯之助	同	二七	丙	六
藪內樅次郎	同	二八	丙	六
畑谷太兵衞	同	三〇	丙	五

(備考)席次は同學年男生三十一名中に於ける成績順とす。

●尋常小學五學年生成績

姓名	及落	席次	操行	平均
伊藤秀一	優及	三	甲	九
野村芳雄	優及	四	甲	九
上吉原利平	同	五	乙	九
金子佐六	及	七	乙	八
大村大吉	優及	九	甲	八
大槻準	及	一二	乙	八
赤堀早苗	及	一六	乙	七
澤本一郎	同	一八	乙	七
川內閑雄	同	二一	乙	七
靜野恒吉	同	二二	乙	六
小林八重松	同	二六	乙	六

(備考)席次は同學年男生二十六名中に於ける成績順なりとす

右成績中最優等者及優等者に對し本會より特に賞品を授與せられたり。

▲教養所生徒幼年學校受驗　教養生中今回中學第三學年に進級したる者の內三名(大坪、都留、前島)第二學年に進級したる者の內山脇芳太郎を除くの外全部(但し久保、渡部は身體不合格、能見は歸郷)及尋常小學卒業生荒木、島山、大和田、船越(身體不合格)の四名は、去る四月十九日より二十一日に至る三日間陸軍地方幼年學校試體に應じ受驗したり。

▲有功章其他贈與

東京支部　此村かれ子

功勞に依り特別謝狀並婦女鑑一冊贈與(三月十三日)

茨城支部々長　坂逸子

右功績に依り特別徽章贈與

茨城支部顧問　坂仲輔
同　支部副長　豐田英雄
同　同　田中穎子
同　同　木間瀨房子
同　主事　榊倘明
同　稻敷郡幹事部長　松浦かれ子
同　新治郡幹事部長　和知とめ子

右功績に依り一等有功章贈與

茨城支部參與　木間瀨旋三
同　會計監督　小澤英俊
同　久慈郡幹事部長　羽田すみ子
同　行方郡幹事部長　山田いの子
同　結城郡幹事部長　瀧川きよ子
同　眞壁郡幹事部長　市村ふき子
同　那珂郡幹事部長　丹みち子
同　久慈郡幹事部顧問　羽田逸
同　稻敷郡幹事部顧問　松浦久昌
同　新治郡幹事部顧問　和知類
同　眞壁郡幹事部顧問　市村忠美
同　結城郡幹事部顧問　瀧川成政
同　元東茨城郡幹事部顧問　水間要行
同　行方郡幹事部顧問　山田正長
同　猿島郡幹事部顧問　杉浦録木
同　元新治郡幹事部顧問　鶴田正晋

右功績に依り一等有功章贈與

茨城支部東茨城郡幹事部長　關谷とく子
同　西茨城郡幹事部長　小泉のぶ子
同　多賀郡幹事部長　多羅間みさと子
同　筑波郡幹事部長　坂本貞子
同　鹿島郡幹事部長　杉浦はま子
同　水戸市幹事部幹事　池田とよ子
同　同　檜山やす子
同　同　床井てつ子
同　同　大井すと子
同　同　矢田てつ子
同　同　酒泉きよ子
同　同　酒泉たき子
同　同　榊いち子
同　同　小關芳子
同　同　飯田はる子
同　多賀郡幹事部幹事　小池はつ子
同　行方郡幹事部幹事　山田ひで子
同　東茨城郡幹事部幹事　金野江直
同　茨城支部事務員　仁平傳之助
同　同　飯田彰
同　多賀郡幹事部事務員　慶中ふみ子
同　水戸市幹事部幹事

右功績に依り三等有功章贈與(三月十九日茨城支部總會席上に於て御親授)

茨城支部水戸市　中山ふさ子
同　多賀郡　小野崎はつ子
同　同　小野崎ひさ子
同　同　角內和歌子
同　同　竹多摩子
同　同　大久保かつ子
同　同　近藤とよ子
同　同　宇佐美とく子
同　同　滑川もと子
同　同　小池ろく子
同　田上ふき子
同　高野さく子
同　青木しな子
同　細田なな子
同　酒井けい子
同　塚崎たけ子
同　齋代さく子
同　新治郡　奧津てい子
同　結城郡　小西こと子
同　中澤はな子
同　川上かれ子
同　那珂郡　黑澤たの子
同　大川いれ子
同　四野こと子
同　寺門ちよ子
同　谷津やな子
同　東茨城郡　萩谷千代子
同　久慈郡　宇野まち子
同　五木田きく子
同　結城郡　植田みち子
同　穗積しげ子
同　多賀郡　渡邊こと子
同　鹿島郡　石てる子
同　多賀郡　初見やす子
同　鹿島郡　山中てろ子
同　大濱まつ子
同　櫻井のぶ子
同　筑波郡　花塚こう子
同　新治郡　高野きん子
同　細谷りう子
同　東茨城郡　松田こう子
同　多賀郡　石川桂子
同　眞壁郡　山中たき子
同　結城郡　赤羽くめ子
同　北相馬郡　谷口ます子
同　青柳まさ子
同　新治郡　沼尻たみ子
同　眞壁郡　大武つれ子
同　尾見清子

○右各金五十圓寄附に依り頭書の通り贈與(三月十九日茨城支部總會席上に於て御親授)

臺灣支部嘉義幹事部長　津田貞子
同　同顧問　沖田毅一

功績に依り一等有功章並特別徽章贈與(三月廿一日)

青森支部　村本小糸子

金五十圓寄附に依り三等有功章贈與(三月十七日)

三重縣支部幹事　岡安たま子
同　橋爪きさ子

功績に依り三等有功章贈與(三月十六日)

石川支部

▲第二回總會　富支部第二回會員總會は去る四月三日皇祖祭の佳日を期し、畏くも總裁宮殿下御台臨の下に、兼六公園內舊長谷川邸跡に於て開催せられたり。

是れより先き、四月二日午後二時二十四分と謂ふに總裁宮殿下には赤十字社總裁宮殿下と御同伴、各隨員を從へさせられ御機嫌麗はしく金澤驛に御到着あり奉迎者諸員の御出迎を受けさせられ先づ赤十字社支部へならせられ、御休憩中李家知事以下諸員に拜謁を賜はり次で御旅

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

館なる古今亭に入らせらる。

翌三日は相憎の雨天にて、夜來より霏々として降り初めたる春雨の小止みなく誠に遺憾の極なりしも、光榮ある此會に參せんと來會する會員引きも切らず總員實に約七千に及び空前の盛況を來せり。

式場は紅絹を二重に張り、白布の天上には經木モールを以て裝飾を施し、四方の柱は藍白の布を以て包み、尚ほ筵を敷き詰め、藍白の布にて包みたる欄干を設け、中央一段高き所に殿下の御座所を設く諸般の設備質素にして淸洒たるものあり、やがて定刻に至るや、李家支部長開會を宣告し、總裁宮殿下は左の如く御論旨を賜はる。

石川支部は夙に熱誠なる諸氏の勵精盡瘁に由り日に月に隆盛に赴き會務亦能く整頓す今回此盛會に臨み諸氏と親しく相見るは最も欣喜の至りなり惟ふに戰役救護の實を擧るは容易の業にあらずして其實効を顯はすは諸氏の力に俟たざるべからず夫れ諸氏尙一層進で協心戮力仁愛の主旨を體し益々會運の隆昌を期せんことを望む

次て李家支部長恭しく御座前に進みて、左記答辭を奉り、引續き川崎副長の會務報告あり、

答辭

愛國婦人會石川支部第二回總會を開くに方り畏くも總裁殿下の台臨を辱し優渥なる御趣旨を賜はる貴賓等感激の至りに堪へず自今一層同心協力會務の擴張を圖り以て御趣旨に副はんことを期す茲に謹みて答辭を上る

次に阿部副會長亦左記の祝詞を朗讀さる

愛國婦人會石川支部は總裁宮殿下の台臨を仰ぎ本日第二回會員總會を開かる篤子等の最も慶賀する所なり回顧すれば本會が明治三十四年設立の基礎を定めし以來當支部は卒先會務の擴張に留意せられ年を逐ふて良好なる効果を收め今日の盛況を觀るに至りたるは詢に欣喜に堪へざる所なり然れども遺族癈兵救護の實を完うせんには前途尙ほ容易の業にあらず冀くは各姉妹方益々努めて總裁殿下の台旨に副ひ奉られんことを聊か所思を述べて祝詞とす

斯くて李家支部長有功章並に特別賜金御親授の旨を宣し總裁宮殿下には夫々御親授あり次で癈兵總代本庄喜久松遺族總代廣中ため兩氏に特別賜金御授與あらせられたるが本庄喜久松氏は隻脚左に腋杖を挾み附添市書記の肩により三指のみを殘せる右手にて御目錄を拜受したる時には麗はしき妃殿下の玉顔に憐愍の情を滿へ給ひ最と畏く終りて李家支部長閉會の旨を宣して式全く終了を告げたるが總裁殿下には同じく李家知事の御案内にて成巽閣に御歸還直ちに御車を連ねさせられて縣會議事堂の宴會場に臨ませ給へたり

宮崎支部

▲幹事部幹事總會

尙支部西諸縣郡幹事部に於ては去月三日同郡々役所樓上に於て幹事總會を開催したるが其狀況左の如し

一、開會、四月三日正午會員一同着席、
一、會員一同敬禮
一、幹事部長開會の辭、
一、總裁宮殿下御眞影開扉(一同起立最敬禮)
一、唱歌、君ケ代　一、令旨捧讀
一、御眞影前に進み最敬禮(五名宛)
一、會務報告　一、支部役員挨拶
一、幹事部長挨拶　一、祝詞(幹事部顧問)
一、一同最敬禮終て御眞影閉扉
一、會務の協議

(イ)會費徴集に關する件

一、幹事の受持區域を定め其區內會員に對する會費は納期日迄に受持幹事に於て取纏め收入員に送付する事
一、各幹事は其受持會員會費徴收簿を備へ(帳簿は幹事部より配付す)徴收の都度之に記入し收入員に送付したるときは之に受領證印を受け授受を明確ならしむること。
一、納期中に納入せざる者に對しては再三督促を加へ尙ほ納入せざるときは其旨委員へ報告すること。

(ロ)會員に關する件

一、會員募集は從來の經歷に徴するに往々家計困難の者等に對し入會を勸誘したる爲め會費納入の義務を怠るものあり故に爾後は必らず會費納入の義務に堪へ得る見込あるものに限り入會勸誘の事
一、受持會員にして轉居、死亡、改姓等の者あるときは直に委員に報告する事。
一、閉會の辭　幹事部長
一、茶菓の饗應(此間蓄音器演奏)
一、退散(午後四時)
一、當日の來會者は各村幹事二十名、男子役員九名なり。

千葉支部

▲委員區總會

四月九日山武郡大總村委員區第三回總會を開催し兼ねて同村戰病死者の忠魂祭典を執行せしに會員及び在鄕軍人其他來會せる者無慮一千人に達し當支部より支部長代理として下山副長其外手代木、大杉の兩事務員、佐倉五十七聯隊よりは松崎副官、子安中尉臨場、午前十一時三十分左の順序に依り開會、參列せし遺族三名に對し副長より慰問の意を表する爲め夫れ〲菓子料を贈與し近來稀なる盛會を極め零時三十分閉會したり。

式順序

一、會員一同着席
二、來賓着席
三、君ケ代合奏(一同最敬禮)
四、委員開會の辭
五、令旨捧讀(一同最敬禮)
六、支部長告辭
七、來賓祝辭
八、委員閉會の辭
九、副長以下退場
一〇、一同退場

高知支部

▲會員總會

當支部幡多郡幹事部內中村町外九ケ村會員は會務擴張の爲め三月二十五日中村町郡設所公會堂に於て聯合總會を開催せり、時恰も櫻花爛漫の好時節、特に當日は前日來の陰雲漸く霽れて一天拭ふが如く場の入口に交叉したる國旗幡多郡幹事部旗等春風に飜り和氣自ら場中に充てり、式場は都て虛飾と冗費を省き淸洒なる式壇を設け、豫定の時刻午後一時來會せる會員百餘名にして、來賓は縣教育會長安藝喜代香氏土地の長老木戸明氏新聞記者支部職員幹事、顧問同職員等、先づ事務員片山雄太郎開會の旨を述べ、續ひて君ケ代の奏樂、幹事部顧問江淵俊政氏令旨並告諭を捧讀(一同最敬禮)、次で支部主事山本義則は支部長の祝辭、幹事部職員岡上義成氏は幹事部長の祝辭を代讀し、來賓中縣教育會長安藝喜代香氏の祝詞に併せて婦女の心得に就き有益なる講話、山本主事の本會事業に關する講演、幹事部江淵顧問の演說等あり、夫れより會務の協議に移り、會費の整理會員の增募等滿場一致を以て可決し、會員總代杉吉野子の祝詞、委員總代川島繁壽子の答詞ありて式を終り、折詰の饗應を爲し、各員談笑の裡蓄音器、劍舞、二輪加、舞、源氏節、淨瑠璃、福引等の餘興ありて一同歡を盡して日晡散解せり、尙餘興寄附の申込多數なりしも時間の都合上悉く演じ得さりしを遺憾とす、又今回の總會に付ては聯合各町村の職員並に會員諸氏の奔走に依り頗る盛會たる事を得且つ多數の新入會者ありたるは本會の爲め賀すると共に諸氏の勞を多とするものなり

長崎支部

▲遺族慰藉

去る三月二十二日振遠隊及朝陽艦戰死軍人(振遠隊は維新の初め奥羽戰爭に參加し朝陽艦は其の當時函館港に於て戰沒したるものなり)を合祀せる長崎市大德寺なる梅ケ崎招魂社に於て官祭執行に際し當支部は特に遺族接待所を設け大塚支部長、秦副長外評議員幹事等十五六名出張し式後參拜遺族四十餘名に對し茶菓を進め親しく慰問の上夫々箱入菓子を贈與したり。

山口支部

▲幹事區總會

當支部管內熊毛郡平生町受持幹事區第一回總會を開く其狀況左の如し。

一、明治四十四年三月二十二日第一回會員總會を同町立尋常高等小學校構內に開催す、
一、同日午前十一時開會時刻を期し在來會員二百五名新募會員二十三名參集
一、來賓として山根山口支部主事磯部幹事部長磯部顧問平生警察署長
一、平田受持幹事區委員擧式の旨を述ぶ
一、平田受持幹事區委員進んで總裁宮殿下の御眞影の幕を除き奉る、一同最敬禮
此時君ケ代唱歌二回(小學女兒童とゝもに)
一、受持幹事區委員　御令旨捧讀(一同敬禮)
一、平田受持幹事の式辭
一、磯部幹事部長の告辭
一、山根山口支部主事祝詞
一、會員總代の答辭
一、平田委員　總裁宮殿下の幕を覆ひ奉る、(一同最敬禮)
一、平田委員終式の旨を告ぐ、一同退場
一、午後七時より同町郡會議事堂に於て當部携帶の幻燈會を開く之に先ち磯部顧問は開會を宣告し山根支部主事は本會の趣旨及本部並山口支部に於て今日迄實施し來りたる救護事業等の概要を說き以て會員の自重と義務の槪念とを感起せしめし後軍人遺族癈兵の生業扶助の映畫を一々說明して觀覽せしめたるに多大の感動を與へ散會せしは午後十時なり、當夜參集せしは平生町の附近大野、曾根、麻鄕、田布施の各村會員にして八百餘名の多きに達せり。

▲遺族接待

去る三月二十六、七の兩日當山口支部櫻畠練兵場に於て防長靖獻會主催に係る招魂祭擧行に付き當支部に於ては同所に休憩所を設置し副長幹事部長山口附近町村幹事及會員並篤志看護婦人會員にして本會々員たるもの四十有名懇切周到之が接待の勞を執り當日菓子券引替に菓子折を交附せし參拜の遺族は無量九百餘名の多數にして孰れも其優遇を感謝し滿足されたるが如し。

愛國婦人第二百二十四號附錄　發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　竹内貞三　發行所　東京麴町區飯田町　愛國婦人發行所　印刷所　東京市小石川區久堅町　博文館印刷所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN